取扱説明書

LEICA C-LUX 3

はじめに

このたびは LEICA C-LUX 3 をお買い上げいただき、ありがとうございます。この説明書をよくお読みのうえ、安全に正しくお使いください。 また、お読みになったあとは、必ず保管してください。

内　容

安全上のご注意 4
各部の名前 10
ご使用の前に 14
スナップショットモード 18
プログラムモード 20
シーンモード 22
動画モード 28
撮影する - 高度な機能 30
フラッシュを使って撮る 32
セットアップメニュー 34
撮影メニュー 37
画像と動画の再生 44
データの削除 45
パソコンと接続する 54
テレビと接続する 56
プリンターと接続する 58
メッセージ表示 60
エラーの訂正 / トラブルシューティング 61
索引 65
組み合わせが不可能な機能 66
記録可能枚数 68
記録可能時間 70
仕様 71
Leica サービス窓口 74

注意事項

以下の内容は米国にのみ適用されます。

■適合性宣言

商標 : LEICA
型番 C-LUX 3
責任者 / サポートコンタクト
Leica Camera AG,
Oskar-Barnack-Strasse 11,
D-35606 Solms,
電話番号.: +49 (0) 64 42-208-0,
ファックス : +49 (0) 64 42-208-333,
www.leica-camera.com
info@leica-camera.com

この装置はFCC規定パート15に適合します。操作の際は次の2項目を条件とします。(1) この装置は有害な干渉を引き起こすことはなく、(2) 望ましくない操作を生じさせる可能性を含めて、受信したいかなる干渉に耐えることができなければなりません。

FCC 注意 : この装置は、FCC 規定パート 15 に基づき、クラス B デジタル装置の制限事項に準拠することが確認されています。この制限事項は、住居施設を有害な影響から保護するためのものです。この装置は、無線周波数エネルギーを生じさせることがあり、取扱説明書に従って取り扱わない場合は、無線通信に対する有害な影響を引き起こすおそれがあります。しかしながら、特定の設置方法に対して妨害が生じないという保証はしかねます。この装置の電源を入れたり切ったりして、ラジオまたはテレビの受信を妨害していることが確認された場合は、以下の方法から妨害を訂正してください。

・受信アンテナを回したり、位置を変える。
・本機とレシーバーの間のセパレーションを増やす。
・レシーバーが接続されている回路以外に本機を接続する。
・取扱店またはラジオ / テレビの技術者に相談する。

FCC 注意 : 適合性を継続的に保証するため、パソコンまたは周辺装置に接続する際は、付属の取扱説明書に従い、フェライトコアをもつ遮断されたインターフェースケーブルのみを使用してください。
適合性に関して責任者の明確な承認を得ていない変更、または修正によってこの機器を操作するユーザーの権限が無効になることはありません。

LEICA C-LUX 3

ご購入の製品は、リサイクル可能なリチウムイオン電池で作動します。
バッテリーの再利用についての問い合わせは、1-800-8-BATTERYへお電話ください。

以下の内容はカナダにのみ適用されます。

このクラスBデジタル装置はカナダ ICES-003に準拠します。

以下の内容は英国にのみ適用されます。

定格ラベルはデジタルカメラの底部にあります。

■電源リード線に関するご注意

安全にお使いいただくために、以下をよくお読みください。本機にはお客様の安全と便宜のために、3ピン電源プラグが付いています。このプラグにはA5アンペアのヒューズがついています。ヒューズの交換が必要な場合は、新しく交換するヒューズの定格が5アンペアであるか、またASTAまたはBSIからBS1362によって承認されているかを確認してください。ASTA マーク またはBSI マーク のチェックは、ヒューズのボディを確認してください。もしプラグに取り外しが可能なヒューズカバーが含まれている場合は、ヒューズを交換した後、再び取り付けられているかを確認してください。ヒューズカバーを紛失した場合は、新たに代わりのカバーを入手するまでプラグは使用しないでください。
代替ヒューズは、最寄の販売店にてお買い求めください。

警告 : 取り付けプラグがコンセントに合わない場合は、ヒューズを取り外し、プラグを切断して安全な方法で処分してください。
切断したプラグを 13 アンペアのソケットに挿入すると、感電するおそれがあります。
新しいプラグを取り付けた場合は、以下の記述に従ってワイヤーコードを確認してください。
ご不明の点は、有資格電気技師に相談してください。

重要事項 : 電源リード線は、次のコードに従い、色で区別してあります。
青 : ニュートラル
茶色 : ライブ

これらの色がプラグの端子を特定する色と一致しない場合は、次に従ってください。
青色のワイヤーは、アルファベットのNが記されているか、黒、または青の端子に接続してください。
茶色のワイヤーは、アルファベットの L が記されているか、茶色、または赤色の端子に接続してください。

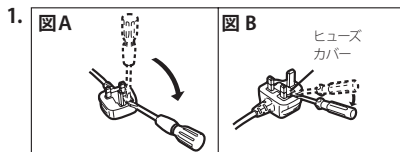
警告 : アルファベットの E かアースのシンボル ⏚ 、または緑色、黄緑色のアースワイヤーは、アース端子に接続しないでください。プラグは防水加工されていません。水に濡らさないでください。

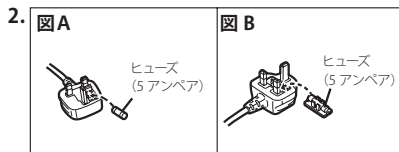
■ご使用の前に

コネクターカバーを取り外してください。

■ヒューズの交換方法

ヒューズの位置は、電源プラグのタイプによって異なります (図 A および B 参照)。電源プラグを確認し、次の指示に従ってください。説明中のプラグは、実際の電源プラグと異なる場合があります。

1.

ドライバーを使ってヒューズカバーをあけます。

2.

ヒューズを交換して閉じるか、ヒューズカバーを取り付けてください。

安全に関する注意

初めて使用する前にこの取扱説明書をよく読み、使用の際には必ず順守してください。

安全にお使いいただくために

注意：火災や感電、またその他の損害のおそれを防ぐために、推奨されるアクセサリーのみを使用し、雨や湿気にさらさないようご注意ください。カバーやリアカバーを取り外さないでください。修理は Leica カスタマーサービスにご依頼ください。

警告：著作権にお気をつけください。
商用に記録されたテープ / ディスク、または出版物の撮影は個人的な使用目的であっても、著作権を侵害するおそれがあります。

ご注意ください：

- 本書のメニュー項目は、実際とは異なる場合があります。
- SD ロゴは商標です。
- LEICA は、Leica Microsystems IR GmbH の登録商標です。
- Elmarit は、Leica Camera AG の登録商標です。
- その他、本書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは会社の商標または登録商標です。

本機のダメージを防ぐために

カメラ

- LEICA C-LUX 3 は光沢ブラック加工が施されています。汚れのない表面を長く保つには、カメラを傷つけるおそれのある物体との接触を避けてください。
- カメラの取り扱いには注意してください。
- カメラを振ったり、たたいたりしないでください。レンズや液晶モニターが損傷するおそれがあります。
- 汚れた手でレンズやソケットに触れないでください。
- 砂、ホコリ、水からカメラを保護してください。
- カメラに海水が付着した場合は、まず水道水で少し湿らせた布でふき取り、そのあと乾いた布でふきます。

液晶モニター

液晶モニターは、精密度の高い技術で作られていますが、液晶モニターの画面上に黒い点や明るい点が現れることがあります。これは故障ではありません。またこれらの点は、内蔵メモリーやカードの画像には記録されませんのでご安心ください。

- 液晶モニターを強く押さえないでください。
- 本機が冷えきっている場合、電源を入れた直後は液晶モニターが通常より少し暗くなります。

結露について

結露は、一定の条件で生じるものです。結露が起こった場合は、電源を [OFF] にし、約 2 時間放置してください。レンズや液晶モニターの水滴は、乾いた布でふき取ってください。

- レンズの汚れや、カビ、故障の原因になるため、お気をつけください。

レンズ

・レンズを押して圧力をかけないでください。

・レンズを太陽に向けたまま、放置しないでください。装置が故障するおそれがあります。

メモリーカード

・カードを高温になるところや直射日光のあたるところ、電磁波や静電気が生じる場所には置かないでください。カードを曲げたり落としたりしないでください。保存データが破損したり、削除されるおそれがあります。

・カードを使用しないときは、カードケースに入れて保管してください。

・端子に汚れ、砂、液体またその他の異物が付かないようにしてください。

バッテリー（リチウムイオン電池パック）

・充電は必ず付属のチャージャーを使って行ってください。

・専用のバッテリーのみを使用してください。

・端子に汚れ、砂、液体またその他の異物が付かないようにしてください。

・バッテリーを長時間、直射日光にさらさないでください。（車内に放置するなど）

・金属製物質を端子に接触させないでください。

・バッテリーの火中への投下、過熱、ショート、分解をしないでください。

・バッテリー液に接触した場合は、水道水で衣服や手をしっかりと洗ってください。液が目の中に入った場合は、水道水で十分にすすぎ、こすらないでください。その後、医師の指示に従ってください。

充電装置

・オーバーヒートや火災を防ぐため、充電中は十分に換気を行なってください。

・チャージャーの仕様は110 V AC ～ 240 V ACまでとなっています。
ソケットに合う電源ケーブルを選択してください。

・ソケットはカメラの近くで、すぐ届くようにしてください。

長期間ご使用にならない場合

・バッテリーは、15 ～ 25 ℃ の乾燥した場所に保管してください。

・バッテリーおよびメモリーカードをカメラから取り外してください。

・バッテリーがフル充電されている場合は、カメラの中に保管しないでください。
バッテリーが消耗され、容量が減少する場合があります。

・一年に一度は充電してください。

・カメラは、専門店で入手可能なシリカゲルなどの乾燥剤または除湿剤とともに保管してください。

画像データ

・不適切な取り扱いによってカメラが故障した場合、保存ファイルが破損したり紛失することがあります。Leica はファイルの損失による損害に関しては一切責任を負いかねます。

三脚を使う

・三脚を使用する場合は、本機を取り付けた状態で三脚が安定していることを確認してください。

・三脚使用時は、カードやバッテリーが取り出せないことがあります。

・カメラの取り付けや取り外しの際は、三脚とカメラが正しい位置関係にあることをご確認ください。きつく固定しすぎると、ネジ山がつぶれたり、カメラ本体や定格ラベルに傷をつけるおそれがあります。三脚の取扱説明書をよくお読みください。

エラー予防対策

カメラ

カメラの取り扱い

- 座るときは、カメラをポケットから取り出してください。
- 物が一杯詰まったポケットにカメラを入れたり、紙袋に入れたりしないでください。
- カメラを落としたりたたいたり押したりしないでください。
- ストラップに他のものを取り付けないでください。カメラやディスプレイ、レンズにあたり、損傷の原因となります。
- Leica販売店で専用の携帯用ケースをお買い求めいただけます。

エラーと電波障害対策

本機が影響を受け、正常に動作しないときは、次のように対処してください。

1. 電源をOFFにします。
2. バッテリーを取り出します。
3. バッテリーを取り付けます。
4. 電源をONにします。

- カメラは、出来るだけ以下の電磁装置から遠ざけてください。

  ■テレビ　■電子レンジ　■ゲーム機
  ■ラジオ送信機　■高圧線など

  これらは、カメラの画像や音に好ましくない影響をおよぼすおそれがあります。例えばファイルの損失、ファイルの損害や画像のゆがみなどが考えられます。
- カメラに付属されたケーブルのみを使用してください。
- ケーブルを引っ張らないでください。
- コードやケーブルを延長して使用しないでください。

カメラのお手入れ

お手入れの前にカメラからバッテリーを取り出し、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 絶対に殺虫剤や揮発性の化学薬品をスプレーしないでください。
- お手入れの際は、ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤を使わないでください。溶剤を使うと外装ケースが変質したり、塗装がはげる恐れがあります。
- ゴム製品やビニール製品などを長期間接触させたままにしないでください。
- 台所用洗剤や化学ぞうきんは使用しないでください。湿らせた布で拭き、その後乾いた布で拭きます。

液晶モニター

- 液晶モニターを押して圧力をかけないでください。液晶モニターにシミが生じたり、故障の原因となります。

メモリーカード

メモリーカードの保存

カードが壊れると、ファイルを損失するおそれがあります。

カードを曲げたり落としたりしないでください。

- カードを汚れ、ホコリ、直射日光、電磁波、静電気から保護してください。

バッテリー / 充電装置

メモリーカードの保存

充電式リチウムイオン電池・発電は、電池内部の化学反応に基づいています。この化学反応は、周囲温度と湿気に影響を受けます。極度の高温や低温は、バッテリーの寿命を劣化させます。

- カメラを使用したあとはバッテリーを取り出して同梱のケースに入れて保管してください。バッテリーを落下させないでください。
- バッテリーを入れる前に、バッテリーと接続をチェックしてください。壊れたバッテリーは使用しないでください。
- バッテリーが正しく入っているか確認してください。バッテリーが正しく挿入されていない場合は、爆発の危険があります。
- 可能であれば、予備バッテリーを用意してください。
- 低温で使用すると、バッテリーの耐用年数が短くなります。
- 長期間出掛ける際は、充電装置をお持ちください。
- 修理不可能なバッテリーは、自治体の規則に従って処分してください。
- バッテリーの寿命は限られています。
- バッテリーを火の中に投下しないでください。爆発のおそれがあります。
- 金属物質をバッテリーの接続部に接触させないでください。火災のおそれがあります。
- ラジオの近くにチャージャーを置くと、ラジオの受信妨害のおそれがあります。チャージャーは、ラジオから最低1mは離してください。
- 使用中、チャージャーの内部で発信音がする場合がありますが、異常ではありません。
- 充電後、電源ケーブルを家庭用コンセントから抜きます。
- チャージャーの接続部とバッテリーのお手入れをしてください。

§ 特記事項

QuickTime およびQuickTimeロゴは、米国Apple Computer Inc.の登録商標です。

廃棄処分

本機の高品質材料は再利用されます。本機は、一般の家庭のゴミとは個別に分類し、無料で地方自治体の収集場所に出すことができます。詳しい情報は、地方自治体にお問い合わせください。

バッテリーは、一般の家庭ごみとして処分することができません。お客様は、消費者として指定された収集場所でバッテリーを処分する義務があります。漏電を防ぐために、接続部にテープを貼ってください。
有害物質を含むバッテリーには、以下の記号が記されています。

- Pb = バッテリーには鉛が含まれています。
- Cd = バッテリーにはカドニウムが含まれています。
- Hg = バッテリーには水銀が含まれています。
- L i = バッテリーにはリチウムが含まれています。

各部の名前

セルフタイマーランプ
AF 補助光ランプ
フラッシュ発光部
レンズ部
三脚 取付部
カード/バッテリー扉
開閉レバー

静止画撮影
ムービー撮影のための
動画モード

マイク
電源スイッチ
スピーカー
シャッターボタン
ズームレバー
モードダイヤル
ストラップ取付部
モードスイッチ
パソコンへの出力端子
AV- 出力端子/USB
DC 入力端子
動作表示ランプ
液晶モニター

撮影モード
再生モード

カーソル上 / 露出補正 / ブラケットボタン
カーソル　左 /
セルフタイマーボタン
カーソル右 /
フラッシュ設定ボタン
カーソル下 /
マクロモード
MENU/SET ボタン
ディスプレイボタン
クイックメニュー / 削除ボタン

液晶モニターの表示

撮影時

1 撮影モード
2 フラッシュモード
3 フォーカス
4 記録画素数
5 クオリティ
6 バッテリー残量
7 記録可能枚数
8 内蔵メモリー
9 記録動作
10 ISO 感度
11 シャッタースピード
12 絞り値
13 AF エリア
14 手ブレ補正

撮影時(各種設定後)

1 マクロモード
2 ホワイトバランス
3 ISO 感度
4 カラーモード
5 画質設定
6 記録可能時間
7 スポット AF 範囲
8 名前
9 ヒストグラム表示
10 トラベル日付
11 記録経過時間
12 年齢/場所
13 下限シャッタースピード
14 セルフタイマーモード
15 露出補正
16 現在日時/旅行先設定(アイコン表示)
17 パワー LCD モード
18 暗部補正
19 連続撮影モード
20 クイックAF
21 旅行日時

再生時

1 再生モード
2 プロテクト表示
3 お気に入り
4 文字焼き込み済表示
5 記録画素数
6 クオリティ
7 バッテリー残量
8 フォルダー/ファイル番号
9 画像番号/トータル枚数
10 動画記録時間
11 ヒストグラム
12 撮影情報
13 お気に入り設定
14 露出補正
15 現在日時/旅行先設定
16 絞り/シャッタースピード
17 旅行日時
18 パワー LCD モード
19 DPOF プリントの枚数
20 音声再生

液晶モニターについて

ディスプレイの変更

メニュー画面が表示されている間は使用できません。

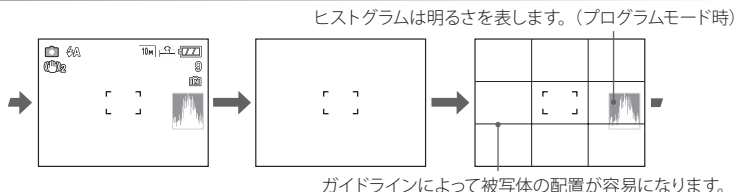
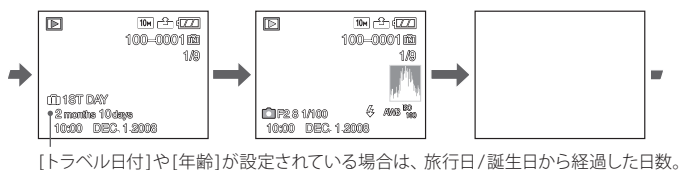
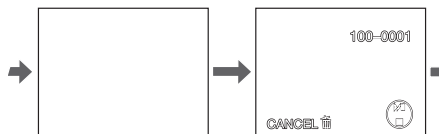
[DISPLAY] ボタンを数回押します。

撮影モード中

ヒストグラムは明るさを表します。（プログラムモード時）

ガイドラインによって被写体の配置が容易になります。

再生モード中

[トラベル日付]や[年齢]が設定されている場合は、旅行日/誕生日から経過した日数。

スライドショーの間

液晶モニターの明るさ調節

再生モードでは使用できません。

Q. MENUを押します。

LCD MODEを選択します。

Q. MENUを押します。

通常の明るさ

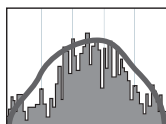
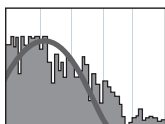
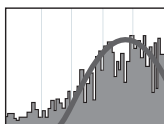
自動明るさ調整

モニターが明るくなり、屋外でも見やすくなります。

ヒストグラムについて

ヒストグラムは、（黒から白の）横軸に沿って明るさを示し、縦軸で各明るさレベルでの画素数を示すグラフです。

このヒストグラムで、画像の露出を容易にチェックできます。

ヒストグラムの露出

適切な露出

露出不足

露出過剰

暗い部分、中間調、明るい部分がバランスよく分布し、撮影するのに適した画像となります。

暗い部分が多すぎる露出アンダー気味の画像となります。夜景など黒いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

明るい部分が多すぎる露出オーバー気味の画像となります。白いものが画面の大部分を占めている場合もこのようなヒストグラムになります。

- フラッシュ撮影や暗い場所での撮影では、撮影された画像とヒストグラムが適合しないので、ヒストグラムはオレンジ色で表示されます。
- ヒストグラムは、撮影モードでは近似値となります。
- ヒストグラムは、撮影モードと再生モードでは一致しないことがあります。
- 本機で表示されるヒストグラムは、パソコンで使用される画像編集ソフトウェアに表示されるヒストグラムとは一致しません。
- ヒストグラムは、動画撮影モード時 と再生モード時 は表示されません。

ご使用の前に

1 付属品の内容

以下の内容がすべて付属されているかご確認ください。
付属品が足りない場合は、ご購入頂いた販売店にご連絡ください。

品名		タイプ	品番
バッテリー	(USA)[1]	BP DC6-U	18 675
〃	(EU)[1]	BP DC6-E	18 674
〃	(日本)	BP DC6-J	18 676
バッテリーケース		-	423-076.801-504
チャージャー	(USA)[2]	BC DC6-U	423-076.801-502
〃	(EU)[2]	BC DC6-E	423-076.801-501
〃	(日本)	BC DC6-J	423-076.801-503
リストストラップ		-	424-025.003-000
USB ケーブル		-	424-025.004-000
AV ケーブル		-	424-025.005-000

1,2,3：国によって1品目のみ

- カードはオプションでご購入いただけます。カードを使用しない場合は内蔵メモリーで撮影または再生ができます。
- SD メモリーカード、SHCD メモリーカード、マルチメディアカードは、本取扱説明書内で カードと表記します。

2 別売アクセサリー

品名	タイプ	品番	
ACアダプター	(US)	ACA-DC4-US	18 641
〃	(UK/HK)	ACA-DC4-UK/HK	18 643
〃	(AUS)	ACA-DC4-AUS	18 649
〃	(日本)	ACA-DC4-JP	18 642
コンポネントケーブル		CV 1	18 692
		CV 1- J	18 693
レザーケース	ブラック	-	18 687
〃	グロッシーブラック	-	18 688
〃	ホワイト	-	18 698

記録可能な画像枚数

記録可能な画像枚数は撮影間隔、またバッテリーの保管条件によって異なります。撮影間隔が長くなればなるほど、記録可能枚数は少なくなります。例えば、2分に1回撮影した場合、記録可能な画像枚数は、CIPA規格（30秒間隔撮影）の約1/4、約77枚に減少します。

3 バッテリーを充電します。

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。

アダプターを接続します。（アメリカ以外の国）

バッテリーを挿入します。
バッテリーが正しく挿入されているか確認してください。

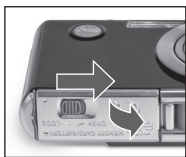
緑色の表示が消えるまで、充電してください。
（約120分後）

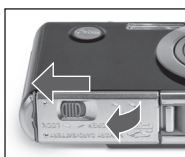
バッテリーを取り外します。

CIPA基準に準拠したバッテリーの寿命：
記録可能な画像枚数　280枚

- チャージャーを取り外します。
- バッテリーおよびカメラは、使用後または充電後にあたたかくなります。
- バッテリーは使い切っていなくても充電できます。
- 絶対にチャージャーを改造しないでください。
- 専用のチャージャーは、室内のみで使用してください。
- オプションのＡＣアダプターが接続されても、バッテリーは充電されません。
- バッテリーの温度が高くなりすぎると、緑色の表示が点滅します。 充電時間が長くなります。

4 バッテリーを挿入します。

カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。

扉を開けます。

バッテリーを挿入します。
カチッと音がするまで挿入します。

扉を閉めます。
開閉レバーをロックします。

- 使用後は、バッテリーを取り外してください。
- 電源がONになっている間は、絶対にバッテリーの挿入および取り出しを行なわないでください。
- クリップのような金属物質を電源プラグのコンタクト周辺に放置しないでください。火災やまたは感電がショートを起こしたり熱が生じるおそれがあります。

ヒント **残量表示**

・残量表示は、液晶モニターに表示されます。バッテリー残量が少なくなると、残量表示が赤色で点滅します。バッテリーを充電するか、新しいバッテリーと交換してください。

・バッテリーを正しく充電したにも関わらずカメラの操作時間が極度に短くなった場合は、バッテリーの寿命切れです。新しいバッテリーを購入してください。

5 カードを挿入します。

カメラの電源がOFFになっていることを確認してください。カードが挿入されていない場合は、一定数まで写真を内蔵メモリーに保存できます。

扉を開けます。

カードを挿入します。
カチッと音がするまで挿入します。

扉を閉めます。
開閉レバーをロックします。

- ●カードはオプションでご購入いただけます。
- ●カードの接続端子には決して触れないでください。カードを取り出すには、カチッと音がするまで押し、真っ直ぐに引き抜きます。
- ●内蔵メモリーやカードは、電磁波や静電気、またはカメラやカードが壊れることによって損失を受けることがあります。大切なファイルは、パソコンなどに保存することをおすすめします。
- ●カードは、パソコンや他の機器でフォーマットしないでください。適切な動作を保証するために、本機でのみフォーマットしてください。
- ●小さなお子様がカードを飲み込まないよう、お子様の手の届かないところで保管してください。

カードの種類	特徴
SD メモリーカード（8 MB ～2GB） FAT12/FAT16*フォーマット済み	・素早く記録および書き込みを行ないます。 ・書き込み防止スイッチ付き
SDHC メモリーカード（4 GB ～ 32GB） FAT32 フォーマット済み *	
マルチメディアカード	•静止画像のみ

*SD カードの基準に準拠したフォーマット

本機では、次の操作がおこなえます。

- ●カードが挿入されていない場合画像を内蔵メモリーに記録し、再生することができます。
- ●カードが挿入されている場合は、カードで画像の記録や再生ができます。
- ●[IN] 内蔵メモリーを使用しているとき（[IN] アクセス表示）
- ●カードを使用しているとき（[カード] アクセス表示）

カードとカメラについての注意

動作表示ランプが点灯しているときは、カメラの電源をOFFにしたり、カードを抜いたり、ACアダプターを取り外したりしないでください。（写真を読み込み中または削除中のとき、または内蔵メモリーやカードがフォーマットされている最中にランプは点灯します。）また、カメラに振動や衝撃を与えないでください。カードやカードに保存されたファイルが損傷し、カメラが正しく作動しなくなるおそれがあります。

6 言語、時刻、日付の設定

電源をONにし、📷モードに設定します。

[MENU/SET]ボタンを押してください。

繰り返し押して選択します。

希望の項目を選択し、設定します。

[MENU/SET]ボタンを押してください。

時計を設定してからに電源をOFFにしてください。

- カメラが再生モードでないことを確認してください。
- 時計設定を変更するには、[MENU SET]ボタンを押し、[時計設定]を選択します。
- フル充電したバッテリーを最低24時間カメラに入れておくと、バッテリーを抜いても設定を3ヶ月間保持します。
- 時計は24時間システムで設定されます。
- 時計が設定されていないと写真に正確な日時がプリントされません。

旅行日を設定することもできます。

01 [セットアップ] メニューから、[トラベル日付] を選択し、▶を押します。
02 [SET] を選択するには、▼を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
03 出発日を設定するには、▲▼◀▶を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
04 帰宅日を設定するには、▲▼◀▶を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
- 帰宅日を設定する必要がない場合は、[MENU/SET] ボタンをもう一度押します。

05 [MENU/SET] ボタンを押してメニュー画面を終了します。
- 旅行日の日にちの設定後は、電源を入れると、出発日から経過した日にちが約 5 秒間表示されます。
- 旅行日が設定されると、🧳 が画面の右下に表示されます。

世界の時刻を設定することもできます。

01 [セットアップ] メニューから、[ワールドタイム] を選択し、▶を押します。
02 [ホーム] を選択するには、▼を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
03 お住まいの地域を選択するには、◀▶を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
04 [旅行先] を選択するには、▲を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
05 旅行先の地域を選ぶには◀▶を押し、[MENU/SET] ボタンを押してセットします。
06 [MENU/SET] ボタンを押してメニュー画面を終了します。
- サマータイム☼⊙を使用するには▲を押します。（一時間進みます。）サマータイムを終了させるには、▲をもう一度押します。
- 旅行先で撮った写真を再生すると✈旅行先アイコンが表示されます。

IN 内蔵メモリー

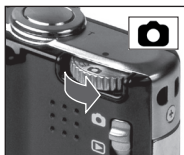
・メモリー容量: 約 50 MB。
・記録できる動画:QVGA（320 x 240 画素）のみ
・内蔵メモリーは、臨時用メモリーとして使用できます。
・記録画像をカードにコピーすることができます。
・カードより内蔵メモリーの方がアクセス時間が長い場合があります。

スナップショットモード

カメラは自動的にシーン認識、手ブレ補正、暗部補正、顔認識、クイックAF、暗部補正およびデジタル赤目軽減発光を設定します。

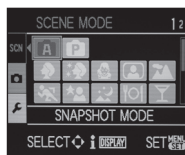
1 電源スイッチをONにします。モードスイッチを📷に、モードダイヤルを📷に設定します。

動作表示ランプが約1秒間点灯します。

電源をONにし、📷モードに設定します。

モード📷を選択します。

2 MENU/SETを押し、Aモードを SCN モードで選択し、カメラを被写体に向けます。

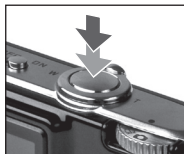
- 両手でカメラをしっかりと持ちます。

モードAを選択します。

被写体にAFエリアを合わせます。

3 被写体にピントを合わせます。

- 設定を変更するには[Q.MENU] を押します。

ピントが合っていない場合　（点滅）
ピントが合っている場合　（点灯）

- 被写体のピント合わせに関する詳しい情報は、30ページを参照してください。

被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを半押しします。

4 フラッシュを設定してください。

状況に合わせてフラッシュを設定します。

- フラッシュに関する詳しい情報は、32ページを参照してください。

をセットするには、▶を押してください。

モードを選択します。

5 シーン認識

カメラが特定シーンを特定すると、各アイコンが左上に表示されます。

モードでは、自動的に5つのシーンが認識されます。これらのシーンモードのいずれも被写体に適していない場合、カメラは標準設定で記録します。

- 人物シーンが認識されると、カメラは自動的に顔認識をし、焦点と露出を調節します。逆光補正の条件の下で顔が最適な明るさになるよう、照明が自動的に修正されます。
- 他の特定のシーンを撮影するには、適切なシーンモードで撮影することをおすすめします。

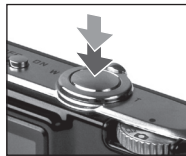
- 22ページのSCNモードを参照してください。

シーンの認識
例えば人物モード

- 人物
- 風景
- マクロ
- 夜景＆人物[1]
- 夜景[2]

1 フラッシュが⚡Aに設定されているときのみ
2 フラッシュがに設定されているときのみ

6 撮影

- 設定によって縦で撮影された画像は、回転して表示されます。
- シャッターボタンを押すとモニターが明るくなったり暗くなることがあります。
- スナップショットモード使用時には、追尾AFモードが自動的設定されます。追尾AFモードに関する詳しい説明は40ページを参照してください。

シャッターボタンを全押しします。

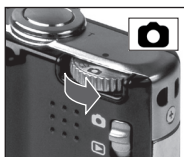
画像が表示されます。
画像が短時間表示されます。

プログラムモード

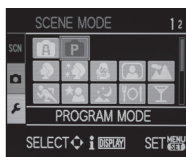
スナップショットモードと比較すると、より多くのメニュー項目を設定し、自由に撮影することができます。

1 電源スイッチをONにします。モードスイッチを[カメラ]に、モードダイヤルを[カメラ]に設定します。

動作表示ランプが約1秒間点灯します。

電源をONにし、[カメラ]モードに設定します。

モード[カメラ]を選択します。

2 MENU/SETを押し、[P]モードをSCNモードで選択し、カメラを被写体に向けます。

- 両手でカメラをしっかりと持ちます。

モード[P]を選択します。

被写体にAFエリアを合わせます。

3 フラッシュを設定してください。

状況に合わせてフラッシュを設定します。

- フラッシュに関する詳しい情報は、32ページを参照してください。

[フラッシュ]をセットするには、▶を押してください。

モードを選択します。

4 手ブレには手ブレ補正を設定してください。

撮影中、手ブレは認識され、カメラによって自動的に補正されます。

[手ブレ補正]1 = 手ブレは 常に補正されます。

[手ブレ補正]2 = シャッターボタンを押すと手ブレが補正されます。

- 設定を変更するには[Q.MENU] を押し、[手ブレ補正]を選択します。
- 手ブレに関する詳しい情報は、42ページを参照してください。

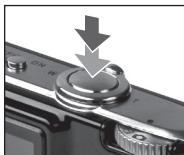
Q.MENUを押します。

モードを選択します。

5 被写体にピントを合わせます。

状況に合わせてフラッシュを設定します。

ピントが合っていない場合 （点滅）
ピントが合っている場合 （点灯）

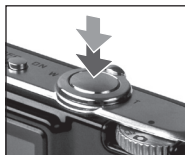
- 被写体のピントの合わせ方については30ページを、さまざまな AF 設定に関しては39 ページを、[Q.MENU] については43ページを参照してください。

被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを半押しします。

6 撮影

- 設定によって縦で撮影された画像は、回転して表示されます。
- シャッターボタンを押すとモニターが明るくなったり暗くなることがあります。

シャッターボタンを全押しします。

画像が表示されます。
画像が短時間表示されます。

SCN シーンモード

特殊なシチュエーションに適したシーンモードで撮影します。選択すると、カメラは最適な露出と色合いを設定します。

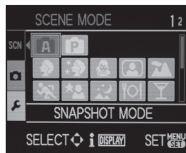
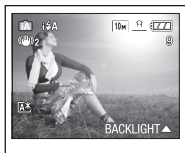
1 電源スイッチをONにします。モードスイッチを[カメラ]へ、モードダイヤルを[カメラ]にします。

動作表示ランプが約1秒間点灯します。

電源をONにし、[カメラ]モードに設定します。

モード[カメラ]を選択します。

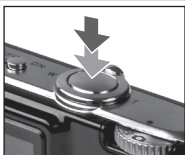
2 MENU/SETボタンを押し、シーンをSCNモードで選択し、カメラを被写体に向けます。

- 両手でカメラをしっかりと持ちます。
  1. [MENU/SET] ボタンを押してメニュー画面を開きます。
  2. [シーンモード] へ移動するには、▶を押してください。
  3. ▲▼◀▶を押してモードを選択します。
  4. [MENU/SET] ボタンを押して確定します。

シーンを選択します。

被写体にAFエリアを合わせます。

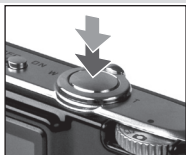
3 被写体にピントを合わせます。

- 設定を変更するには [Q.MENU] ボタンを押します。

ピントが合っていない場合 ♩♩♩♩（点滅）
ピントが合っている場合 ● ♩♩（点灯）

- 被写体のピント合わせに関する詳しい情報は、30ページを参照してください。
- さまざまなAF設定に関する詳しい情報は、39ページを参照してください。

被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを半押しします。

4 撮影

- 設定によって縦で撮影された画像は、回転して表示されます。
- シャッターボタンを押すとモニターが明るくなったり暗くなることがあります。

シャッターボタンを全押しします。

画像が表示されます。
画像が短時間表示されます。

- SCN モード メニュー中で[DISPLAY]ボタンを押すと各シーンについての説明が見られます。[DISPLAY]ボタンをもう一度押すと、終了します。
- 選択したシーンモードによって、次の設定のいくつかは固定されることがあります。ホワイトバランスは変更できません。フラッシュは強制的にOFFとなります。ヒストグラムはオレンジ色で表示されます。AF補助光ランプは無効になります。セルフタイマーは設定できません。[ISO感度] と[カラーモード] の設定ができません。

人　物

顔色を鮮明に写します。できるだけ T側(望遠) にするとより効果が出ます。

- [オートフォーカスモード]の初期設定はです。

美　肌

人の顔など肌色のエリアを検出し、肌の表面をなめらかに撮影します。できるだけT側 (望遠) にするとより効果が出ます。

- 背景や他の部分が皮膚の色に類似していると、この部分もなめらかになります。
- このモードは、十分な明るさがないと効果的ではありません。
- [オートフォーカスモード]の初期設定はです。

変　身

スリムもしくはグラマラスに撮影することができ、また 同時に肌をキレイに撮影できます。

1. 変身を選択するには、▲▼を押し、[MENU/SET]ボタンを押します。
   - [Q.MENU]でも、設定の変更ができます。
2. 撮影します。
   - 撮影時は美肌モードが働きます。ただし、[スリム 強]または[グラマラス 強]に設定している場合は、美肌モードが働きにくくなります。
   - [クオリティ] は自動で[ ]になります。
   - Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した画像での撮影が可能です。
   - [オートフォーカスモード]の初期設定はです。
   - 個人として楽しむ以外は、著作権法上の権利者に無断では使用できません。
   - 公序良俗に反する目的やひぼう中傷目的で利用しないでください。
   - 被写体の利益を損なうような利用はしないでください。

自分撮り

セルフポートレートの撮影は、広角[W]で 2秒セルフタイマーで撮影することをおすすめします。

1. ピントを合わせるにはシャッターボタンを半押しします。ピントが合うとセルフタイマーランプが点灯します。撮影するにはカメラをしっかり持ち、シャッターボタンを全押しします。
2. セルフタイマーランプが点滅しているときはピントが合っていません。シャッターボタンをもう一度半押ししてピントを合わせます。
3. 撮影した画像は確認のため、自動的に液晶モニターに表示されます。
4. シャッタースピードが遅くなり、手ブレしやすいときは、2秒セルフタイマーの使用をおすすめします。
   - ピントが合う範囲は 30 cm ～ 70 cm です。
   - セルフポートレートを音声付きで撮影することもできます。この場合、音声の録音中にセルフタイマーランプが点灯します。
   - ズームは自動的に広角 [W]へ移動します。
   - セルフタイマーの設定は設定なし、または2秒のみ設定できます。2秒に設定すると、この設定は電源をOFFにするか、シーンモードを変更するか、[撮影] モードまたは [再生] モードを選択するまで保持されます。
   - 手ブレ補正機能は、[MODE2]に設定されます。
   - [オートフォーカスモード]の初期設定はです。

風　景

広がりのある風景を撮影できます。オートフォーカスは、5 mから ∞です。

スポーツ

シャッタースピードを上げて被写体の動きを止めます。明るい日中の写真撮影をおすすめします。

- 5 m 以上離れた被写体を撮影するのに適したモードです。
- [インテリジェント ISO]が有効になると、最大ISOは ISO800になります。

夜景＆人物

夜景＆人物向けです。カメラをしっかり持ち、被写体の人に撮影中はなるべく動かないように伝えてください。

- フラッシュを使用します。 に設定できます。
- シャッタースピードが遅くなるため、三脚とセルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- ズームをW端（広角）にして被写体から約 1.5 mほど離れたところから撮影することをおすすめします。
- ピントが合う範囲は 1.2 m ～ 5 m です。
- シャッターは信号処理のため、撮影後に（最大約1秒）閉じたままになることがあります。これは故障ではありません。
- 暗い場所で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。
- [オートフォーカスモード]の初期設定は です。

夜景

夜景撮影に使用します。シャッタースピードは最大8秒まで設定ができます。三脚とセルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。

- 手ブレ補正機能が設定されていて、わずかなブレがある場合、または手ブレ補正機能が[OFF]に設定された場合、シャッタースピードは8秒まで落ちることがあります。
- ピントが合う範囲は5 m以上です。
- シャッターは信号処理のため、撮影後に（最大約8秒）閉じたままになることがあります。これは故障ではありません。
- 暗い場所で撮影すると、ノイズが目立つことがあります。

料理

料理を撮影するために使用します。フラッシュなしで撮影すると効果的です。

- ピントが合う範囲は、マクロモードと同じです。（マクロ ）/5 cm（W端時）/50 cm（T端時）～∞

パーティ

屋内での撮影で屋内照明を使用し、より自然な色で撮影できます。

- フラッシュを使用します。 または に設定できます。
- 撮影には三脚とセルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。
- ズームをW端（広角）にして被写体から約 1.5 mほど離れたところから撮影することをおすすめします。
- [オートフォーカスモード]の初期設定は です。

キャンドル

ろうそくの光の雰囲気を生かした写真を撮影できます。撮影には三脚とセルフタイマーを使って撮影することをおすすめします。

フラッシュを使用せずに撮影すると効果的です。
- ピントが合う範囲は、マクロモードと同じです。（マクロ ）/5 cm（W端時）/50 cm（T端時）～∞
- [オートフォーカスモード]の初期設定は です。

赤ちゃん 1/2

赤ちゃんの撮影に適しています。誕生日を設定すると、年齢を表示できます。

一人目の赤ちゃん [赤ちゃん1] と二人目の赤ちゃん [赤ちゃん2] の誕生日と名前をそれぞれ設定できます。再生時に年齢を表示させるか、[文字焼き込み] を使用して撮影した画像に文字を焼き込むかを選択できます。

誕生日と名前の設定

1. [年齢] を選択するには▲▼を押し、▶を押します。
2. ▲▼を押して [SET] を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. ▲▼◀▶を使って誕生日を入力します。
4. [MENU/SET] ボタンを押して終了します。
5. 名前を追加するには、ステップ 1に戻り、[名前] を選択します。

年齢/または名前を取り消す

誕生日と名前の設定のステップ 2 で [OFF] を選択します。

- フラッシュは、通常よりも弱めになります。
- 誕生日または名前が設定されると、[年齢] または [名前] が自動的に [ON] に設定されます。
- 誕生日または名前が設定されていない状態で [ON] が選択されると 、自動的に設定画面が表示されます。
- 誕生日または名前が設定されていて [年齢] または [名前] が [OFF] になると、年齢または名前が表示されません。
- カメラが [赤ちゃん1] / [赤ちゃん2] をセットした状態でオンになると、年齢と名前が現在の日付と時間とともに、およそ 5 秒間画面の左下に表示されます。
- 年齢が正しく表示されない場合は、時計と誕生日が正しく設定されているかを点検してください。
- 誕生日と名前の設定は、[RESET] を選択するとリセットできます。
- ピントが合う範囲は、マクロモードと同じです。（マクロ ）/5 cm（W 端時）/50 cm（T 端時）～ ∞
- [インテリジェント ISO] が有効になり、最大 ISO は ISO400 になります。
- [オートフォーカスモード] の初期設定は です。

ペット

ペットの撮影に適しています。誕生日を設定すると、年齢を表示できます。

[ペット] の機能は [赤ちゃん1/2] と同様です。 [赤ちゃん 1/2] を参考にしてください。

- AF 補助光ランプの初期設定は [OFF] になっています。
- [インテリジェント ISO] が有効になり、最大 ISO は ISO800 になります。
- [オートフォーカスモード] の初期設定は です。

夕焼け

夕焼けの撮影に使用します。赤色を強く鮮やかに撮影できます。

高感度

特に屋内の撮影では、より高い ISO 感度によって被写体のブレをおさえて撮影できます。

1. 画素数および横縦比設定を選択するには ▲▼を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
2. 撮影します。

- [クオリティ] は自動的に に固定されます。
- L サイズ程度のプリントサイズ用として適した撮影ができます。
- ピントが合う範囲は、マクロモードと同じです。（マクロ ）/5 cm（W 端時）/50 cm（T 端時）～ ∞

高速連写

連続撮影によって、決定的瞬間の画像を撮影できます。

1. ▲▼を押して横縦比と画素数を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
2. 撮影します。シャッターボタンを押している間撮影されます。

最高連写速度	約6枚/秒
記録可能な画像枚数	約 15 枚 (内蔵メモリー) / 約 15 ～ 100枚 (カード) 最高 100枚

- 連写速度は撮影条件によって異なります。
- 連写撮影画像の記録数は、撮影条件や使用するカードのタイプや状態によって異なります。
- フォーマット直後は連写枚数が増加する場合があります。
- [クオリティ] は自動的に に設定されます。
- Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した撮影ができます。
- ピントが合う範囲は、マクロモードと同じです。(マクロ) /5 cm(W端時) /50 cm(T端時) ～ ∞
- フォーカス、ズーム、露出、シャッタースピード、ISO感度は最初の画像で設定されます。
- ISO感度は自動的にISO500 ～ ISO800の間で切り替わります。シャッタースピードを速くするために、ISO感度を上げます。

フラッシュ連写

フラッシュを使って5枚まで連続撮影ができます。暗い場所で連続写真撮影できるので便利です。

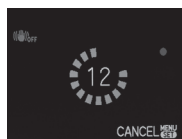
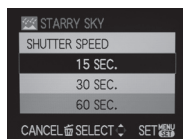
1. 画素数および横縦比設定を選択するには▲▼を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
2. シャッターボタンを押さえ続けると5枚までの連写ができます。

- 連写速度は撮影条件によって異なります。
- [クオリティ] は自動的に に設定されます。
- Lサイズ程度のプリントサイズ用として適した撮影ができます。
- ピントが合う範囲は (W端時) /50 cm - (T端時) ～ ∞
- フォーカス、ズーム、露出、シャッタースピード、ISO感度およびフラッシュレベルは、最初の写真で設定されます。
- ISO感度は自動的にISO100 ～ ISO3200の間で切り替わります。

星空

星空のように特に黒い被写体の撮影ができます。三脚を使って撮影することをおすすめします。

シャッタースピード設定

1. シャッタースピードを選択するには、▲▼を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
2. 撮影します。

- シャッターボタンを全押しするとカウントダウン画面が表示されます。このとき、本機を動かさないでください。カウントダウンが終了すると、信号処理のために、選択したシャッタースピードと同じ時間「しばらくお待ちください」と表示されます。
- カウントダウン画面の表示中に撮影を停止するには、[MENU/SET] ボタン を押します。
- 15秒、30秒、60秒間シャッターが開きます。
- 手ブレ補正は [OFF] に設定されます。
- ISO 感度は ISO100に設定されます。

花火

花火を撮影するために使用します。花火が上がったら、シャッターボタンを押します。三脚の使用をおすすめします。

- 10 m 以上離れている被写体を撮影するのに最も適したモードです。
- シャッタースピードは次のとおりです。
  - 手ブレ補正が [OFF] に設定されている場合：2 秒に設定されます。
  - 手ブレ補正が [MODE1] または [MODE2] に設定されている場合：1/4 秒または 2 秒（三脚使用時などのようにほとんどゆれがないと判断した時のみ、シャッタースピードは 2 秒になります。）
  - 露出補正によって、シャッタースピードを変えることができます。
- AF エリアは表示されません。
- ISO 感度は ISO100 に設定されます。

ビーチ

ビーチでの撮影に使用します。強い日差しの下でも人物が暗くならずに撮影できます。

- [オートフォーカスモード] の初期設定は です。
- ぬれた手でカメラに触らないでください。
- 砂や海水はカメラの故障の原因になります。カメラのレンズや端子に砂や海水が付いていないか、確認してください。
- 砂や海水でカメラが故障した場合は、保証の対象にはならないのでご注意ください。

雪

雪を撮影するために使用します。実際の雪の白さを再現するために露出とホワイトバランスが設定されます。

空撮

機内の窓からの撮影に使用します。飛行機の離着陸の際は、電源を OFF にしてください。

雲などを撮影する際にピントを合わせることが難しい場合は、コントラストの強い物体にカメラを向けてシャッターボタンを半押しにしてピントを合わせてから被写体にカメラを向け、シャッターボタンを全押しして撮影することをおすすめします。

ピンホール

被写体の周囲を暗くし、ソフトフォーカスで撮影できます。

1. 画素数および横縦比設定を選択するには▲▼を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
2. 撮影します。

- [クオリティ] は自動的に に設定されます。
- L サイズ程度のプリントサイズ用として適した撮影ができます。
- ISO 感度は ISO1600 に設定されます。
- ピントが合う範囲は、マクロモードと同じです。（マクロ ）/5 cm（W 端時）/50 cm（T 端時）～∞

サンドブラスト

ザラザラ感のある写真が撮影できます。

1. 画素数および横縦比設定を選択するには▲▼ を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
2. 撮影します。

- [クオリティ] は自動的に に設定されます。
- L サイズ程度のプリントサイズ用として適した撮影ができます。
- ISO 感度は ISO1600 に設定されます。
- ピントが合う範囲は、マクロモードと同じです。（マクロ ）/5 cm（W 端時）/50 cm（T 端時）～∞

動画モード

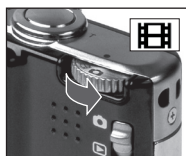
撮影を開始すると、焦点設定、ズームと絞り値が固定されます。音声は同時に内蔵マイクで録音されます。

1 モードに設定し、電源を ONにします。

動作表示ランプが約1秒間点灯します。

モードに設定して、電源をONにします。

2 モードを選択し、被写体にカメラを向けます。

- 両手でカメラをしっかりと持ちます。

モードを選択します。

被写体にAFエリアを合わせます。

3 画質を設定します。

1.「画質設定」を選び ▶を押し、▲▼を押してクオリティを選択します。
2. [MENU/SET] ボタンを押して確定します。

画像横縦比設定	画質	記録画素数	コマ数/秒
画像横縦比設定4:3を選択した場合			
	VGA*	640 x 480 画素	30
	QVGA-H	320 x 240 画素	30
	QVGA-L		10
画像横縦比設定16:9を選択した場合			
	HD*	1280 x 720 画素	30
	WVGA*	848 x 480 画素	30

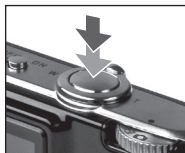
* 内蔵メモリーへの記録はできません。

- 本機で撮影された動画を他の機器で再生すると、画質や音質が劣化したり、再生できないことがあります。記録した情報が正しく表示されないこともあります。
- [オートフォーカスモード]の またはでは縦位置検出機能、手ブレ補正機能の[Mode2]と[AUTO]が使用できません。
- 撮影中のファイルフォーマットはQuickTime Motion JPEGです。

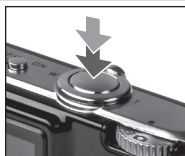
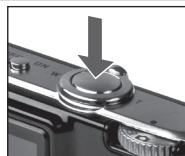
4 被写体にピントを合わせます。

- 可能な撮影時間 が右上に表示されます。
  記録経過時間は右下に表示されます。

ピントが合っていない場合 (点滅)
ピントが合っている場合 (点灯)

- 被写体のピント合わせに関する詳しい情報は、30ページを参照してください。

被写体にピントを合わせ、シャッターボタンを半押しします。

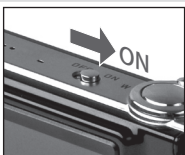
5 撮影の開始と停止

- メモリーカードの書き込み速度が極度に遅くなると、撮影は停止します。
- 動画は連続して2GBまで撮影できます。
- 高画質モードで撮影する時は10 MB以上の容量のカードを使用してください。

撮影開始
シャッターボタンを全押しします。

撮影停止
シャッターボタンを再び全押しします。

記録された動画を見る

1 ▶ モードに設定し、電源を ONにします。

動作表示ランプが約1秒間点灯します。

▶ モードを選択します。

スイッチをONにします。

2 動画の選択

- パソコンで動画を再生するには、QuickTimeが必要です。QuickTimeは以下のURLから入手できます。

www.apple.com/quicktime/download

◀▶を押して動画を選択します。

動画を再生するには▲を押します。

動画コントロール

音量コントロール

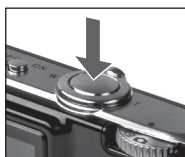
動画の再生中に各ボタンを押して再生/一時停止(1)、停止(2)、早戻し (3)、早送り (4) ができます (3と4は、画像が停止している場合はフレームごと)。ズームレバーを使用すると、ボリュームレベルを下げたり (5)、上げたり (6) できます。

撮影する - 高度な機能

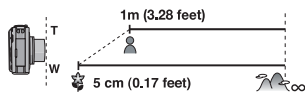
セルフタイマー

タイマーは2秒または10秒に設定できます。ピントを合わせるにはシャッターボタンを半押しします。

- SCN モードでの撮影可能枚数[連写]では3枚、[フラッシュ連写]で5枚です。
- A モードでは、セルフタイマーは2秒に設定することができません。
- SCNモードの[自分撮り]では、セルフタイマーは10秒に設定することができません。
- SCNモードの[高速連写]と、 モードではセルフタイマーは使えません。

◀を押して2秒または10秒を選択します。

スタートするにはシャッターボタンを全押しします。

マクロモード

5cm以内の距離の被写体を撮影します。

マクロモードでは、AF が表示されます。キャンセルするには、もう一度▼を押します。

▼を押してマクロモードを選択します。

- マクロモードは P および モードでのみ手動で設定できます。
- マクロ撮影には三脚とセルフタイマーを使用してください。
- 焦点は、カメラに近い被写体が優先されます。
- フラッシュを に設定します。

オートフォーカス [AF]

ピントが合う範囲は50 cm～∞ です。被写体が画像の中におさまっていても、以下の場合には適切にピントが合わないことがあります。

- 風景の中に遠くと近くの二つの被写体があるとき。
- レンズが汚れていたり、被写体とレンズの間にホコリがあるとき。
- 被写体の周囲に照明の当たったものや光るものがあるとき。
- 暗い場所で撮影したり、明るすぎる被写体を撮影するとき。
- 被写体の動きが早すぎたり、景色のコントラストが乏しい場合。
- 被写体のクローズアップ写真を撮影するとき。
- 撮影中に手ブレが生じたとき。

■オートフォーカス範囲外の被写体を撮影する

1. AFエリアを被写体に向け、ピントと露出を合わせるためにシャッターボタンを半押しします。
2. 画像の構図を決めるためにカメラを動かしている間、シャッターボタンは半押しにしてください。

1.

2.

- シャッターボタンを全押しする前に、納得のいく結果が得られるまでステップ1を繰り返します。

露出補正

被写体と背景の明るさに大きく差がある場合など、適正な露出が得られないときに補正します。

- 電源をOFFにしても、露出値は保存されます。
- スナップショットモードでは露出補正の設定はできません。

[露出補正]を選択します。

◀▶露出を補正します。
[MENU/SET]ボタンを押して終了します。

オートブラケット

露出の補正幅に従って3枚の画像が自動的に撮影されます。

- フラッシュは に設定されます。
- 電源を切ると機能はキャンセルされます。
- オートブラケットは および SCNモードの では機能しません。

[オートブラケット]を選択します。

◀▶露出の補正幅を設定します。
[MENU/SET]ボタンを押して終了します。

ホワイトバランス WB±

ホワイトバランスの設定は、[MENU/SET]ボタンを押して、撮影メニューの[ホワイトバランス]から設定してください。

ホワイトバランス補正の設定内容は次から選択できます。

AWB	自動調整
☼	野外、晴天
(曇りアイコン)	野外、曇り
(日陰アイコン)	野外、日陰
(白熱灯アイコン)	白熱灯
(設定値アイコン)	SET での設定値
SET	手動設定

- 電源がOFFになっても、ホワイトバランスは保存されます。
  SCN モードでは、シーンモードを変更すると、AWB に戻ります。
- ホワイトバランス補正は、フラッシュ撮影した画像で反映されます。
- 最適なホワイトバランスは、撮影中の白熱灯のタイプAWB またはSETによって異なります。

● ホワイトバランス微調整
ホワイトバランスを設定しても、希望の色合いにならない場合に、微調整をすることができます。
(ホワイトバランスを ☼ / / / / に設定してください。)

[WB微調整]を選択します。

◀▶でホワイトバランスを調整します。
◀：赤(青みが強い場合)
▶：青(赤みが強い場合)

● 手動でホワイトバランスを設定する。

1. SET を選択し、[MENU/SET]ボタンを押します。
2. 本機を白い紙に向けます。画面の中央の枠内に白いものだけが写るようにし、[MENU/SET]ボタンを押します。
3. を選択し、シャッターボタンを押してメニュー画面を終了します。

フラッシュを使って撮る

フラッシュモードを選択します。

- 使用できるフラッシュの種類は、撮影モードによって異なります。
- 赤目軽減を設定すると、フラッシュは2度発光します。2度発光するまで、被写体は動かないでください。
- 電源がOFFになっても、フラッシュモードは保存されます。
- SCNモードでは、シーンモードを変更すると、初期設定に戻ります。

繰り返し押します。

シャッタースピード（秒）

オート 1/30 〜 1/2000

撮影条件によって、フラッシュは自動的に発光します。

赤目軽減オート 1/30 〜 1/2000

弱い照明で人物を撮影するときなどに適しています。

強制発光 1/30 〜 1/2000

フラッシュを強制的に発光させます。被写体が逆光または蛍光灯下での撮影に適しています。

赤目軽減スローシンクロ 1 〜 1/2000

暗い背景での人物撮影などに適しています。

赤目軽減強制発光 1/30 〜 1/2000

SCN モードの［パーティ］、［キャンドル］時のみ赤目軽減強制発光になります。

発光禁止

どの場面でもフラッシュは発光されません。

ISO感度の発光可能範囲

	広角 [W]:	望遠 [T]:
オート発光	60cm 〜 6.0m	1m 〜 2.8m
[ISO100]	60cm 〜 1.9m	1m
[ISO200]	60cm 〜 2.7m	1m 〜 1.2m
[ISO400]	60cm 〜 3.8m	1m 〜 1.8m
[ISO800]	80cm 〜 5.4m	1m 〜 2.5m
[ISO1600]	1.15m 〜 7.7m	1m 〜 3.6m

SCNモードの［高感度］でISO感度は[ISO1600] と [ISO6400] で自動的に切り替わり、使用できるフラッシュの範囲も異なります。

撮影モード別フラッシュ設定

	⚡A	⚡A(赤目)	⚡	⚡S(赤目)	⚡(赤目)	(発光禁止)
A	○[1]	—	—	—	—	○
P	○	○	○	○	—	○
	○	●	○	—	—	○
	○	●	○	—	—	○
	○	●	○	—	—	○
	○	●	○	—	—	○
	—	—	—	—	—	●
	●	—	○	—	—	○
	—	—	—	●	—	○
	—	—	—	—	—	●
	○	—	○	—	—	●
	—	—	—	●	○	○
	—	—	—	○	○	●
1	○	●	○	—	—	○
2	○	●	○	—	—	○
	○	—	○	—	—	●
	—	—	—	—	—	●
	○	—	○	—	—	●
	—	—	—	—	—	●
	—	—	●	—	—	—
	—	—	—	—	—	●
	—	—	—	—	—	●
	—	—	●	—	—	○
	●	—	○	—	—	○
	—	—	—	—	—	●
	●	—	○	—	—	○
	●	—	○	—	—	○
	—	—	—	—	—	○

- フラッシュに物が近すぎると、フラッシュの熱または発光によって変形したり、変色するおそれがあります。
- 発光可能な範囲を超えて撮影すると、露出が補正されず、画像が暗くなることがあります。
- フラッシュ充電中はフラッシュアイコンが赤く点滅し、撮影することができません。[自動液晶オフ]が設定されると液晶モニターが非表示となり、動作表示ランプが点灯します。
- 被写体に対して発光レベルが十分でないと、ホワイトバランスの補正が正しくできません。
- シャッタースピードが速いと、十分な発光効果が得られません。
- 繰り返し撮影すると、フラッシュ充電に時間がかかることがあります。アクセス表示が消えてから撮影してください。
- 赤目軽減効果は、個人差があります。カメラから被写体が離れすぎていたり、最初の発光を見ていなかった場合、はっきりとした効果が得られないおそれがあります。

○ 使用できます。
— 使用できません。
● シーンモード初期設定

[1] ⚡A が選択されている場合 i⚡A、i⚡A(赤目) または i⚡S(赤目) が被写体と明るさに応じて設定されます。

セットアップメニュー

1 セットアップメニューを選択します。

メニュー項目を選択します。

2

時計設定

日付と時間を変更します。

ワールドタイム　＝旅行先の地域　＝お住まいの地域

ホームエリアと旅行先の時間を設定します。

トラベル日付　[トラベル日付設定] - [旅行先]

[トラベル日付設定]　[OFF] - [SET]　・旅行の出発日と帰宅日を設定します。
[旅　行　先]　[OFF] - [SET]　・旅行先情報をテキストで入力します。

操作音　[OFF] - - - -

[操作音音量]　- -　・希望の音量に操作音音量を設定します。
[操作音色]　❶ - ❷ - ❸　・希望の操作音色を選択します。
[シャッター音量]　- -　・希望の音量にシャッターボタンを設定します。
[シャッター音色]　❶ - ❷ - ❸　・希望のシャッター音色を選択します。

音量

スピーカー音量を7段階で調節します。

液晶明るさ

液晶モニターの明るさを7段階で調節します。

LCD 液晶モード [OFF] - [A✱] - [✱]

[OFF] = LCD は通常のモードです。

[A✱] [オートパワー LCD] = 明るさが自動で調整されます。

[✱] [パワー LCD] = LCD がより明るく、また見やすくなります。

- [パワー LCD] の液晶モニターの画面は、撮影時、30 秒間何も操作しないと自動的に通常の明るさに戻ります。
- 液晶モニターを再び明るくするにはいずれかのボタンを押します。
- [オートパワー LCD] と [パワー LCD] モードでは、記録可能画像枚数が減少します。

ガイドライン [撮影情報] - [パターン]

[撮影情報] [OFF] - [ON]

ガイドで撮影情報を表示します。

[パターン]

フレーミング、構成、整列に役に立つ様々なガイドラインが液晶に表示されます。

- スナップショットモード時の [パターン] は に設定されます。

ヒストグラム [OFF] - [ON]

このヒストグラムで、画像の露出を容易にチェックできます。

ECO エコノミー

[パワーセーブ] [OFF] - [2 分]- [5 分]- [10 分]

設定時間が過ぎると自動的にカメラの電源を切ります。

[自動液晶 OFF] [OFF] - [15 秒] - [30 秒]

設定時間が過ぎると自動的に液晶の電源を切ります。

- 液晶モニターの電源が切れると、動作表示ランプが点灯します。液晶モニターを ON にするには、いずれかのボタンを押します。

オートレビュー [OFF] - [1 秒] - [2 秒]- [ホールド] - [ズーム]

[OFF] = 撮影画像は表示されません。

[1 秒] - [2 秒] = 撮影画像がこの時間表示されます。

[ホールド] = 撮影画像は、いずれかのボタンを押すまで表示されます。

[ズ ー ム] = 撮影画像は1秒のみ表示され、その後4倍に拡大され、さらに1秒表示されます。

番号リセット

ファイルまたはフォルダー番号を 0001 にリセットします。

- 100 ～ 999 まで数字を割り当てられます。フォルダー番号が 999 になると、番号リセットができなくなりますので、PC またはその他のデバイスにファイルを保存してカードをフォーマットすることをおすすめします。
- フォルダー番号を 100 にリセットするには、内蔵メモリーまたはカードをフォーマットしてから、この機能を使ってファイル番号をリセットします。その後フォルダー番号のリセット画面が表示されますので、[はい] を選択してフォルダー番号をリセットします。

設定リセット　[撮影設定] - [セットアップ設定]

撮影設定またはセットアップ設定を初期設定に戻します。

- フォルダー番号および時計の設定は変更されません。
- 撮影中に [設定リセット] が選択されると、レンズのリセットも実行されます。 レンズの動く音が聞こえる場合がありますが、故障ではありません。

USB モード

カメラからの画像取り込み方法を設定します。

[接続時に選択] = PictBridge または PCを選択します。

[PictBridge（PTP）] = ピクトブリッジ規格に対応したプリンターへ転送します。

[PC] = パソコンへ転送します。

- [PC] モードの “Mass Storage 方式” 接続、または、[PictBridge（PTP）] モードの “PTP（Picture Transfer Protocol）” 方式のどちらかで接続することができます。

ビデオ出力　[NTSC] - [PAL]

各国のカラーテレビシステムに合わせて設定します。

- AV ケーブルが接続されていないと機能しません。57 ページを参照してください。

TV 画面タイプ　16:9 - 4:3

TVの種類に合わせて設定します。

- AV ケーブルが接続されていないと機能しません。57 ページを参照してください。

シーンメニュー　[OFF] - [ON]

シーンモードが選択されたときに表示される画面を設定します。

[OFF] = 選択されているシーンモードの撮影画面が表示されます。
[オート] = シーンモードのメニュー画面が表示されます。

フォーマット

内蔵メモリーまたはカードのフォーマットをします。フォーマットするとすべてのデータが削除されます。よく確認してからフォーマットしてください。

- フォーマットするときは、十分に充電したバッテリー、またはACアダプターを使用してください。フォーマットの最中に電源を切らないでください。
- カードが挿入されている場合は、カードのみがフォーマットされます。内蔵メモリーをフォーマットするには、カードを取り出してください。
- パソコンまたはその他の機器でカードをフォーマットした場合も、本機でもう一度フォーマットしてください。
- 内蔵メモリーのフォーマットはカードよりも時間がかかることがあります。
- 内蔵メモリーまたはカードがフォーマットできない場合は、最寄のサービスセンターにお問い合わせください。

言語設定

画面表示をする言語を設定します。

- 誤って設定した場合は、メニューアイコンの を選択して言語を設定してください。

デモモード　[手ブレ・動き検出モード]

手ブレの状態と被写体の動きを感知して、その状態をインジケーターで表示します。

撮影メニュー

スナップショットモード A では選択できる項目が限られ、プログラムモード P ではすべての項目を選択できます。

1 撮影メニューを選択します。

メニュー項目を選択します。

2

記録画素数 [10M] - [7M] - [5M] - [3M] - [2M] - [0.3M]

希望の記録画素数を設定します。数値が高いほど、プリントしたときにきめ細かくなります。

4:3	画像横縦比設定
10M	3648 x 2736
7M EZ	3072 x 2304[1]
5M EZ	2560 x 1920
3M EZ	2048 x 1536
2M EZ	1600 x 1200[1]
0.3M EZ	640 x 480

3:2	画像横縦比設定
9M	3648 x 2432
6M EZ	3072 x 2048[1]
4.5M EZ	2560 x 1712
2.5M EZ	2048 x 1360

16:9	画像横縦比設定
7.5M	3648 x 2056
5.5M EZ	3072 x 1728[1]
3.5M EZ	2560 x 1440
2M EZ	1920 x 1080

[1] この項目は A モードでは設定できません。

- 画像横縦比設定を変更したら記録画素数を 再度設定してください。
- EX 光学ズームは、SCN モードの ［変身］、［高感度］、［高速連写］、［フラッシュ連写］、［ピンホール］または［サンドブラスト］では使えず、EZ の記録画素数は表示されません。
- EZ は 'EX 光学ズーム' の略です。
- 画像は被写体と撮影状態によってモザイク状で現れることがあります。

画質設定 動画モードのみでアクセスできます。

画素数を設定します。数値が高いほど、再生すると動画がよりなめらかに現れます。

画像横縦比設定	画質	記録画素数	コマ数 / 秒
画像横縦比設定 4:3 を選択した場合			
	VGA*	640 x 480 画素	30
	QVGA-H	320 x 240 画素	30
	QVGA-L	320 x 240 画素	10
画像横縦比設定 16:9 を選択した場合			
	HD*	1280 x 720 画素	30
	WVGA*	848 x 480 画素	30

* 内蔵メモリーへの記録はできません。

クオリティ

画像保存時の圧縮率を設定します。

[ファイン] = 画質を優先します。

[標　準] = 画像の記録可能数を優先します。

画像横縦比設定　4:3 - 3:2 - 16:9

印刷または再生方法に適した画像の横縦比を選べます。

4:3 [4:3] = 4:3 のテレビの画像横縦比設定。

3:2 [3:2] = 35 mm フィルムカメラの画像横縦比設定。静止画像のみです。

16:9 [16:9] = ハイビジョンテレビなどの画像横縦比設定。

インテリジェント ISO　[OFF] - ISOMAX 400 - ISOMAX 800 - ISOMAX 1600

被写体のブレを減少させるために、カメラは自動的に最適なISO感度とシャッタースピードを設定します。最高 ISO感度まで設定できます。

ISO感度　[AUTO] - [100] - [200] - [400] - [800] - [1600]

ISO感度は光に対する感度の尺度です。高い数値に設定すると、(画像のノイズが多くなります) 撮影に必要な明るさが少なくなり、暗い場所での撮影が可能になります。

ホワイトバランス　AWB - 晴天 - 曇り - 日陰 - 白熱灯 - SET設定値 - SET

ホワイトバランスの設定は、MENU/SETボタンを押して、撮影メニューの[ホワイトバランス]から設定してください。

ホワイトバランス補正の設定内容は次から選択できます。

AWB	自動調整
☼	野外、晴天
(曇り)	野外、曇り
(日陰)	野外、日陰
(白熱灯)	白熱灯
(設定値)	SET での設定値
SET	手動設定

- 電源がOFFになっても、ホワイトバランスは保存されます。

SCN モードでは、シーンモードを変更すると、AWB に戻ります。

- ホワイトバランス補正は、フラッシュ撮影した画像で反映されます。

● ホワイトバランス微調整

ホワイトバランスを設定しても、希望の色合いにならない場合に、微調整をすることができます。

(ホワイトバランスをAWB/ ☼ / (曇り) / (日陰) / (白熱灯) / (設定値) / SET に設定してください。)

[ホワイトバランス補正]
繰り返し押して選択します。

[ホワイトバランス補正]
繰り返し押して選択します。

● 手動でホワイトバランスを設定する。

1. SET を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
2. 本機を白い紙に向けます。画面の中央の枠内に白いものだけが写るようにし、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. (設定値) を選択し、シャッターボタンを押してメニュー画面を終了します。

- 最適なホワイトバランスは、撮影中に使用される蛍光灯のタイプ AWBまたは SETによって異なります。
- ホワイトバランスアイテムごとに、それぞれホワイトバランスの補正(WB微調整) ができます。
- SETでホワイトバランスを新しく設定すると、 のWB微調整レベルは、ゼロに戻ります。

AF オートフォーカスモード

選択した被写体の構図に合わせてピントを合わせることができます。

- 顔認識[1]は、顔を認識するために設定します。
- 追尾AF .....動いている被写体にピントを合わせます。
- 11点 ....最大11点までピントを合わせます。
- 1点高速[2]....画面中央に高速でピントを合わせます。
- 1点 ....画面中央にピントを合わせます。
- スポット ....画面の限られた狭い範囲内にピントを合わせます。

[1] 黄色:シャッターボタンが半押しされています。
緑:ピントが合っています。
白:複数の顔が認識されると表示されます。

[1] 一定の撮影条件によっては、顔認識機能が機能しないことがあります。 [オートフォーカスモード] はに切り替わります。

- 顔をカメラに向けていないとき。
- 顔がある特定の角度のとき。
- 顔が明るすぎたり暗すぎるとき。
- 顔のコントラストがほとんどないとき。
- サングラスなどで顔の特徴が隠れているとき。
- 顔が画面上で小さく見えるとき。
- 素早く動いているとき。
- 被写体が人ではないとき。
- カメラが動いているとき。
- デジタルズームを使用したとき。

[2] その他のオートフォーカスモードよりも素早く被写体にピントを合わせることができます。

[2]. シャッターボタンを半押しすると、画像はピントが合う前ににしばらく停止することがあります。これは故障ではありません。

- 複数のAFエリア (最大11点) が同時に明るくなると、カメラはすべてのAFエリアにピントが合っています。撮影の焦点位置を決定するには、オートフォーカスモードを, または に切り替えます。
- オートフォーカスモードがに設定されるとピントが合うまでAFエリアは表示されません。
- でピントが合わない場合はオートフォーカスモードを または に切り替えます。
- カメラは人の顔以外のものを認識することがあります。この場合は、オートフォーカスモードを以外のモードに切り替えて撮影してください。
- SCN モードの[花火]ではオートフォーカスモードに設定することができません。
- 次の場合は、に設定することができません。SCN モードの[夜景]、[料理]、[星空]、[空撮]。モード。

追尾AFの設定をする

1. 被写体を追尾AFフレームに合わせ▼を押してロックします。

- 被写体が認識されるとAFエリアは被写体の動きに連続的にピントを合わせます。(ダイナミックトラッキング)
- ▼を再び押すと追尾AFは停止します。

2. 撮影します。

- ロックをしないとAFエリアは赤くフラッシュしてから消えます。
  [AFロック]を再び押します。
- 追尾AFが失敗すると、[■][オートフォーカスモード]が設定されます。
- SCNモードの[星空]、[花火]、[ピンホール]、[サンドブラスト]、またはモードではは設定できません。
- [カラーモード]の[白黒]、[セピア]、[クール]、または[ウォーム]でを設定することはできません。

Q-AF クイック AF [OFF] - [ON]

カメラが安定している限り、シャッターボタンを押すとカメラは自動的にピントを調節し、シャッタースピードが速くなります。この機能を使えば撮影チャンスを逃しません。

連写 [OFF] - -

シャッターボタンを押している間撮影されます。
撮影した複数のなかからお気に入りの一枚を選べます。

		[OFF]		
連写速度(コマ/秒)		-	2.5コマ/秒[1]	約2コマ/秒
記録可能な画像枚数		-	最大3コマ	内蔵メモリーまたはカードの容量によります。
		-	最大5コマ	

[1] カードのスピードに関係なく連写速度は一定です。

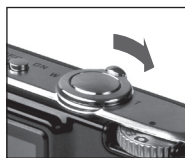
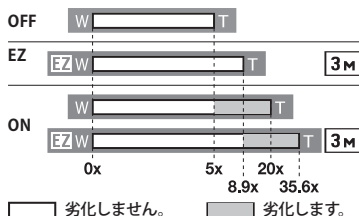
- 連写モードがフリーに設定されると途中から連写速度が遅くなります。正確なタイミングはカードの種類、記録画素数、クオリティによって異なります。内蔵メモリーまたはカードの容量がいっぱいになるまで撮影できます。
- ピントは1枚目で設定されます。
- 連写速度がに設定されると、露出とホワイトバランスは最初の写真の設定が適用されます。その後の画像も同様です。連写速度がに設定されると、撮影するごとに調整されます。
- セルフタイマーを使用すると、連写モードでの記録可能な画像数は3枚になります。
- 被写体の動きを日向と日陰の差が大きい屋内、屋外などで追いながら撮影すると、露出が安定するまで時間がかかることがあります。このとき連写モードを使用すると、露出が最適ではないことがあります。
- 連写速度(コマ/秒)は、暗い場所やISOが高感度といった撮影環境によってゆっくりになることがあります。
- 電源をOFFにしても連写モードはキャンセルされません。
- 内蔵メモリーを使って連写モードで撮影すると画像を記録するのに時間がかかります。
- 連写モードが設定されると、フラッシュはが設定されます。
- 連写モードが設定されるとオートブラケットはキャンセルされます。

暗部補正　[OFF] - [ON]

背景と被写体の明るさの差が大きい場合、見た目と同じように記録するためコントラストと露出は自動的に調節されます。

- [ON] が設定されていると、が画面に表示されます。
- [ISO感度] が [ISO100] に設定され、[暗部補正] が [ON] に設定されていると、[ISO感度] は [自動] に切り替わります。

デジタルズーム　[OFF] - [ON]

光学ズーム、EX 光学ズームよりも被写体を拡大できます。

ズームを設定します。

EX 光学ズーム EZ の仕組み

EX 光学ズームを使用するには、例えば記録画素数を 3M（300 万画素）に設定します。1010 万画素の CCD 範囲は、300 万画素の範囲にトリミングされ、品質を損なうことなく、高いズーム効果の画像撮影ができます。

- デジタルズームは A モードでは設定できません。
- 画面上の指示が一瞬停止することがあります。ズームレバーを望遠 [T] に続けて回転させることでデジタルズームの範囲を決定できます。
- 拡大レベルは [記録画素数] と [画像横縦比設定] によって異なります。
- 電源が切れると、ズームは広角 [W] に設定されます。
- 被写体にピントを合わせた後ズームを使用し、再度被写体にピントを合わせます。
- ズーム位置によってレンズ鏡筒が伸び縮みします。ズームレバーを動かしている間、レンズ鏡筒の動きを妨げないよう注意してください。
- デジタルズームを使用すると、[手ブレ補正] は無効になります。
- デジタルズームを使った撮影の際は三脚とセルフタイマーを使用することをおすすめします。

カラーモード　[標準] - [ナチュラル] - [ヴィヴィッド] - [白黒] - [セピア] - [クール] - [ウォーム]

これらのモードを使うと画像のシャープさや色調が変化し、さまざまな色彩効果が出ます。

[標準]…………… 標準設定です。
[ナチュラル] …… よりソフトな画像になります。
[ヴィヴィッド] … よりあざやかな画像になります。
[白黒]…………… 白黒画像になります。
[セピア]………… セピア色の画像になります。
[クール] ………… 青みがかった画像になります。
[ウォーム] ……… 赤みがかった画像になります。

- 暗い場所で撮影をすると、ノイズが目立つことがあります。ノイズを防ぐには[ナチュラル]に設定することをおすすめします。
- モードでは[クール]または [ウォーム] に設定することができません。モードでは[ナチュラル]または [ヴィヴィッド]に設定することができません。
- 異なった[撮影] モードで異なるカラーモードを設定できます。

手ブレ補正モード [OFF] - [AUTO] - [MODE1] - [MODE2]

このモードのいずれかを使うと 手ブレが 撮影中に認識され自動的に補正します。

[OFF] = 手ブレ補正がOffになっています。

[AUTO] = 撮影状況に応じて、自動的に最適な手ブレ補正をします。

[MODE 1] = 手ブレは つねに[撮影] モードで補正されます。

[MODE 2] = シャッターボタンを押すと補正されます。

- シーンモードの[自分撮り] では [MODE2] に設定され、SCN モードの [星空] では [OFF] に設定されます。
- モードでは [OFF] に設定することができません。
- モードでは [MODE2] は設定できません。

MIN 下限シャッタースピード [1/250] - [1/125] - [1/60] - [1/30] - [1/15] - [1/8] - [1/4] - [1/2] - [1]

[下限シャッタースピード] を遅く設定すると暗い場所で画像を明るく撮影できます。画像がブレないように速度を早めに設定することもできます。

下限シャッタースピード設定	1/250 ◀ ▶	1
明るさ	暗め	明るめ
手ブレ	少なめ	多め

- 撮影には通常 [1/8] に設定してください。異なった下限シャッタースピードを選択すると MIN が画面に表示されます。
- [下限シャッタースピード] の設定によって画像が暗めになることがあります。正しく露出できない場合は、シャッターボタンを半押しすると MINが赤く点滅します。

音声記録 [OFF] - [ON]

画像と同時に音声を録音できます。写真撮影の会話や音声メモとして録音できます。

[OFF] = 音声は録音されません。

[O N] = 撮影と同時に音声が5秒間録音されます。

- 音声録音をキャンセルするには、録音中に [MENU/SET] ボタン を押します。
- 音声は内蔵マイクで録音されます。

AF 補助光 [OFF] - [ON]

暗めの撮影状況でピント合わせが難しいときに被写体を照明すると、ピントをより簡単に合わせることができます。

[OFF] = AF補助光は点灯しません。

[O N] = シャッターボタンを半押しするとAF補助光が点灯します。

- AF 補助光の有効範囲は1.5 m です。
- 暗闇の動物の撮影などでAF 補助光を使用したくない場合は、[AF 補助光] を [OFF]にしてください。この場合、被写体にピントが合いづらくなります。

時計設定

年月日と時間を設定します。 セットアップメニューの[時計設定] と同様の機能です。

クイックメニュー

クイックメニュー [Q.MENU] を使うと、一部のメニューを素早く設定することができます。クイックメニューでは、現在の撮影モードに対して変更可能な最重要項目が表示されます。

クイックメニューへ移動します。

項目を選択します。

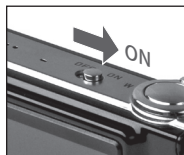
設定を選択します。

決定します。

	[撮影メニュー]	[セットアップメニュー]
AF TRACKING OFF	**A スナップショットモード** [連写] [画像サイズ]	[LED(液晶) モード]
STABILIZER AUTO	**P プログラムモード** [手ブレ補正] [連写] [オートフォーカスモード] [ホワイトバランス] [ISO感度] [暗部補正] [記録画素数]	[LED(液晶) モード]
STABILIZER AUTO	**SCN シーンモード** [手ブレ補正] [連写] [オートフォーカスモード] [ホワイトバランス] [記録画素数]	[LED(液晶) モード]
STABILIZER MODE 1	**動画モード** [手ブレ補正] [オートフォーカスモード] [ホワイトバランス] [画像設定]	[LED(液晶) モード]

画像と動画の再生

1 電源をONにし、▶ モードに設定します。

最初の画像が[ノーマル再生] モードで
表示されます。

スイッチをONにします。

▶ モードを選択します。

2 ファイルを移動します。

サイズの選択

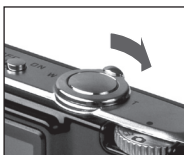
- 画面に1枚ずつ画像を表示
（初期設定）
- 画面に12枚ずつ画像を表示
- 画面に30枚ずつ画像を表示
- 撮影日ごとに表示
（カレンダーモード）

表示モード を選択します。
繰り返し押して選択します。

画像を移動するには ▲▼
◀▶ を押します。

3 画像の拡大

可能な拡大倍率
1x - 2x - 4x - 8x - 16x

さまざまな再生モードについては、52 ページの
[再生モード]を参照してください。

ズーム倍率を選択します。
繰り返し押して選択します。

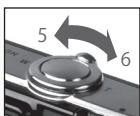
位置を移動するには▲▼
◀▶ を押します。

4 動画の再生

- パソコンで動画を再生するには、QuickTime
が必要です。QuickTime は以下のURLから
入手できます。

www.apple.com/quicktime/download

動画を選択するには◀▶
を押します。

動画を再生するには▲
を押します。

動画コントロール

音量コントロール

動画の再生中に各ボタンを押して再生/一時停止(1)、停止(2)、早戻し(3)、早送り(4)ができます(3と4は、画像が停止している場合はフレームごと)。ズームレバーを使用すると、ボリュームレベルを下げたり (5)、上げたり(6)できます。

データの削除

データの削除

繰り返し押して選択します。

削除の仕方を選択します。
- 1枚削除
- 複数削除
- 全画像削除

1. [1枚削除]、[複数削除] または [全画像削除]を▲▼で選択し、[MENU/SET]ボタンを押します。
2. [1枚削除] モードは現在の画像、または動画を削除します。
   - [複数削除] モードは、▲▼◀▶ を押して画像または動画を選択するか [DISPLAY]を押してマークします。選択された画像は でマークされます。
   -[全画像削除] モードでは、全ての画像または動画が削除されます。★マークしたお気に入りを削除するか保存するか決めることができます。
3. [MENU/SET]ボタンを押して決定します。
4. 削除方法を選択し、[MENU/SET]ボタンで決定します。

- 削除中 が表示されている間は電源をOFFにしないでください。十分に充電したバッテリーまたはＡＣアダプターを使用してください。
- [複数削除]、[全画像削除] または[★以外全画像削除]を使い画像を削除している間に[MENU/SET]ボタン を押すと 削除は途中で停止します。
- 削除する枚数によって削除に時間がかかることがあります。
- 画像が DCF 基準に準拠していない場合、またはプロテクトされている場合は[全画像削除]または[★以外全画像削除] を選択しても削除されません。

動画から静止画像を作成する。

1. 動画再生中に、画像を作成したいコマで▲を押します。
2. ◀▶を押してコマごとに選択するか、[MENU/SET] ボタンを押して9コマの再生画面を見ます。
   - 3コマ進めるには▲▼ を押します。
   - 1コマ進めるには◀▶を押します。
   - コマ/秒の設定を変更するにはズームレバーを広角 [W] の方へ動かします。

30fps VGA - 30fps QVGA - 30fps HD - 30fps WVGA	30 - 15 - 10 - 5 コマ/秒
10fps QVGA	10 - 5 コマ/秒

   - 9 コマ再生画面を終了するには [MENU/SET]ボタンを押します。
3. シャッターボタンを押します。
4. ▲を押し、[MENU/SET]ボタンで保存を確定します。

再生メニュー

1

再生メニューを選択します。

2

CAL カレンダー

カレンダービューで記録した日付ごとに画像を見ます。

1. ▶を押して [カレンダー] に移動します。
2. ▲▼ を押して月を選択します。
3. ▲▼ を押して日付を選択します。
4. [MENU/SET] ボタン を押して終了します。
5. ▲▼◀▶を押して選択し [MENU/SET] ボタンを押して画像を見るか、月を再度見るには 🗑 を押します。

- 同じ日に録画した画像が複数ある場合は、その日に録画した最初の画像が表示されます。
- [ワールドタイム] で旅行先を設定すると、画像は旅行先の日付で表示されます。

タイトルの編集　[1枚設定] - [複数設定]

画像にテキストを加えられます。テキストを記録すると、[文字焼き込み] でプリントに入れることができます。動画/プロテクトされた画像には適用できません。

1. ▶を押して [タイトル編集] に移動します。
2. [1枚設定] または [複数設定] を ▲▼ で選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. [1枚設定] モードで ◀▶ を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して決定します。
   - [複数設定] モードでは、▲▼◀▶ を押して画像を選択し、[DISPLAY] を押してマークし、[MENU/SET] ボタンで決定します。

   選択された画像は でマークされます。
4. ▲▼◀▶を押して文字を選択し、[MENU/SET] ボタン で30文字（英文、記号入力時）まで入力します。
5. EXITを選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
6. ステップ 2に戻って編集を続けるか、🗑 を押して再生メニューに戻ります。

文字焼き込み　[1枚設定]-[複数設定]

撮影日 / 時間、年、旅行日またはタイトルを撮影画像の上に焼き込めます。動画 / プロテクトされた画像には適用できません。

1. ▶を押して [文字焼き込み] に移動します。
2. [1枚設定]または [複数設定] を ▲▼ で選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. [1枚設定]モードでは ◀▶ を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して決定します。
   - [複数設定] モードでは▲▼ ◀▶ を押して画像を選択し、[DISPLAY] を押してマークし、[MENU/SET] ボタンで決定します。

選択された画像は でマークされます。

4. 焼き込む画像を選択するには▲▼ ◀▶ を押します。
5. [MENU/SET] ボタン を押して決定します。
6. 3M より大きい画像に焼き込むには▲を押し、[MENU/SET] ボタンを押してサイズを変更します。
7. ステップ 2に戻って編集を続けるか、 を押して再生メニューに戻ります。

[撮影日時(日付)] …　西暦、月、日が画像に焼き込まれます。

[月齢/年齢(日時)] …　西暦、月、日および時間が焼き込まれます。

[年]…………………　設定すると年齢が画像に焼き込まれます。

[トラベル日付] ……　設定すると旅行日が画像に焼き込まれます。

[タイトル] …………　[赤ちゃん1/2]、[ペット] または [タイトル編集] のテキストが焼き込まれます。

- 0.3M 画像にテキストを焼き込むと読みづらくなります。
- 他のカメラで撮影した画像やファイルにテキストや日付を焼き込むことはできません。

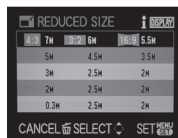
リサイズ　[1枚設定]-[複数設定]

画像の記録画素数を下げます。最終的な記録画素数は横縦比設定によって決定します。動画 / プロテクトされた画像には適用できません。

1. ▶を押して [リサイズ] に移動します。
2. [1枚設定]または [複数設定] を▲▼ で選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. [1枚設定]モードでは ◀▶を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して決定します。
   - [複数設定]モードでは▲▼ を押してサイズを選択し [MENU/SET] ボタンで決定します。▲▼ ◀▶を押して画像を選択し [DISPLAY] を押してマークします。

選択された画像は でマークされます。

4. [1枚設定]モードでは◀▶を押して新しい記録画素数を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して決定します。
   - [複数設定] モードでは [MENU/SET] ボタンを押して決定します。
5. ▶を押し、[MENU/SET] ボタンで保存を確定します。
6. ステップ 2に戻って編集を続けるか、 を押して再生メニューに戻ります。

- サイズ変更した画像の画質は劣化します。
- 他機で撮影した画像のサイズ変更はできない場合があります。

トリミング

撮影した画像を拡大して必要な部分を切り抜くことができます。動画/プロテクトされた画像には適用できません。

1. ▶を押して [トリミング] に移動します。
2. ◀▶を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して決定します。
3. 望遠 [T] を使って画像をズームします。縮小するには広角 [W] を使います。
4. ▲▼◀▶を押してトリミングする部分を選択します。
5. [MENU/SET] ボタン を押してトリミングを決定します。
6. ▲を押し、[MENU/SET] ボタンで保存を確定します。
7. 🗑を押して再生メニューに戻ります。

- サイズ変更した画像の画質は劣化します。
- 他機で撮影した画像のトリミングはできない場合があります。

傾き補正

画像の傾斜を調整します。

1. ▶を押して [傾き補正] に移動します。
2. ◀▶を押して 画像を選択し、[MENU/SET] ボタンで決定します。
3. ◀▶を押して 画像を調整し、[MENU/SET] ボタンで決定します。
4. ▲を押し、[MENU/SET] ボタンで保存を確定します。
5. 🗑 を押して再生メニューに戻ります。

- 傾き補正が実行されると画質が劣化することがあります。
- 傾き補正を実行するとオリジナル画像と比べて記録された画素数は減少することがあります。
- 傾き補正は他機で撮影した画像には適用できない場合があります。

横縦比変換　4:3 - 3:2 - 16:9

16:9の画像を 3:2 または4:3 横縦比設定に変更できます。動画/プロテクトされた画像には適用できません。

1. ▶を押して [横縦比変換] に移動します。
2. ▲▼を選択して4:3または 3:2 横縦比設定を選択します。
3. ◀▶を押して16:9画像を選択し、[MENU/SET] ボタンで決定します。
4 水平位置を選ぶには◀▶ を押し、[MENU/SET] ボタン を押してセットします。
5. ▲を押し、[MENU/SET] ボタンで保存を確定します。
6. 🗑 を押して再生メニューに戻ります。

- 横縦比設定を変更すると、記録画素数は 大きくなることがあります。
- 他機で撮影された画像は横縦比変換できない場合があります。

画像回転

このモードを使うと、手動で画像を90度ごとに回転させることができます。

1. ▶を押して [画像回転] に移動します。
2. ◀▶を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して決定します。
3. 回転方向を選択するには、▼ を押し、[MENU/SET] ボタンを押します。
4. を押して再生メニューに戻ります。

-他機で撮影した画像の回転はできない場合があります。

回転表示　[OFF] - [ON]

このモードではカメラを縦にして撮影した画像を自動で縦向きに表示できます。

1. ▶を押して [回転表示] に移動します。
2. ▲▼を押して [ON] または [OFF] を選択します。
3. 再生メニューに戻るには [MENU/SET] ボタン を押します。

- パソコンで再生するとき、Exifに対応したOSまたはソフトウェアでないと、回転表示することができません。Exif とは撮影情報などの付帯情報を追加することができる静止画像用のフォーマットファイルです。

お気に入り　[OFF] - [ON]- [全解除]

お気に入りマークを画像に設定すると、お気に入り再生機能を使用することができます。

1. ▶を押して [お気に入り] に移動します。
2. ▲▼ を押し [ON] を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. 再生メニューに戻るには [MENU/SET] ボタン を押します。
4. 画像を選択するには◀▶を押し▼を押してお気に入りマークをつけます。マークを消すにはもう一度▼ を押します。
5. ステップ 4 の指示に戻って編集を続けます。

お気に入り設定を全てキャンセルするには

1. ▶を押して [お気に入り] に移動します。
2. ▲▼ を押し [全解除] を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. ▲ を押し、[MENU/SET] ボタンでキャンセルを確定します。
4. 再生メニューに戻るには [MENU/SET] ボタン を押します。

-他機で撮影された画像には適用できない場合があります。

[DPOF プリント]　[1枚設定] - [複数設定] - [全解除]

どの画像を何枚プリントするか、また、日付の焼き込みの有無を選択するシステムです。写真店でお問い合わせください。

1. ▶を押して [DPOF プリント] に移動します。
2. [1枚設定]または [複数設定] を▲▼で選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. [1枚設定]モードでは◀▶ を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して決定します。
   [複数設定] モードでは▲▼◀▶ を押して画像を選択し、[DISPLAY] を押してマークし、[MENU/SET] ボタンで決定します。
4. ▲▼を押して [DPOF プリント] の枚数を入力します。
   選択された画像は でマークされます。
5. 日付を加えるには [DISPLAY] を押します。
   選択された画像は DATE でマークされます。
6. [MENU/SET] ボタンを押して決定します。
7. ステップ 2に従うか、 を押して再生メニューに戻ります。

DPOFプリント設定をすべてキャンセルするには

1. ▶を押して [DPOF プリント] に移動します。
2. ▲▼ を押して [全解除] を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. ▲ を押して、[MENU/SET] ボタンでキャンセルを確定します。
4. 再生メニューに戻るには [MENU/SET] ボタン を押します。

- PictBridge対応のプリンターでは、 プリンター側の日付プリント設定が優先される場合がありますので、プリンター側の設定も確認してください。
- 他機で撮影した画像の印刷はできない場合があります。
- DCF規格以外のファイルは、DPOF 印刷設定ができません。

プロテクト　[1枚設定] - [複数設定] - [全解除]

画像を誤って削除するのを防ぐため、削除したくない画像をプロテクトすることができます。

1. ▶を押して [プロテクト] に移動します。
2. [1枚設定]または [複数設定] を▲▼ で選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. [1枚設定] モードでは ◀▶ を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して決定します。
   ロックをはずすにはもう一度 [MENU/SET] ボタン を押します。
   [複数設定] モードでは▲▼◀▶ を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押してマークを付けます。ロックをはずすにはもう一度 [MENU/SET] ボタン を押します。 選択された画像は でマークされます。
4. ステップ 2に従うか、 を押して再生メニューに戻ります。

プロテクト設定をすべてキャンセルするには

1. ▶を押して [プロテクト] に移動します。
2. ▲▼ を押して [全解除] を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。
3. ▲ を押し、[MENU/SET] ボタンでキャンセルを確定します。
4. 再生メニューに戻るには [MENU/SET] ボタン を押します。

- 内蔵メモリーやカードで画像をプロテクト設定しても、内蔵メモリーやカードをフォーマットすると削除されます。
- プロテクト設定をしていなくても、SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチを「LOCK」側にしておくと、画像の削除はできません。

アフレコ

撮影した画像に、音声情報を加えることができます。

1. ▶を押して [アフレコ] に移動します。
2. ◀▶を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して音声を入れます。
3. すでに音声情報がある場合は、▲を押し、[MENU/SET] ボタンで上書きを決定します。
4. 録音を中止するにはもう一度 [MENU/SET] ボタン を押します。
5. ステップ 2に従うか、 🗑 を押して再生メニューに戻ります。

- 他機で撮影した画像にはアフレコができない場合があります。

コピー　IN→▢ - ▢→IN

撮影した画像データを内蔵メモリーからカードへ、またはカードから内蔵メモリーへコピーします。 データの消失を防ぐためコピー中に電源を OFF にしないでください。

1. ▶を押して [コピー] に移動します。
2. ▲▼を押してコピー先を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。

IN→▢内蔵メモリーからカードへコピーします。ステップ 4に従ってください。
▢→INカードから内蔵メモリーへ画像を一枚ずつコピーします。

3. ◀▶を押して画像を選択し、[MENU/SET] ボタンを押して決定します。
4. ▲ を押し、[MENU/SET] ボタンでコピーを確定します。
5. ステップ 2に従うか、 🗑 を押して再生メニューに戻ります。

- 内蔵メモリーから十分な容量のないカードへ画像データをコピーすると、すべての画像データをコピーできません。 内蔵メモリー (約 50 MB)よりも容量の大きいカードを使用することをおすすめします。
- IN→▢を選択した場合、コピー元にあるファイルと同じ名前の画像が存在すると (フォルダ番号/ファイル番号) 新しいフォルダが作成され画像がコピーされます。
- ▢→INを選択した場合コピー元にあるファイルと同じ名前の画像が存在すると (フォルダ番号/ファイル番号) そのファイルはコピーされません。
- 画像データのコピーは時間がかかることがあります。
- Leica デジタルカメラで記録された画像のみコピーすることができます。パソコンで編集した画像はコピーできないことがあります。
- オリジナル画像データのDPOF 設定はコピーされません。コピーが完了したら再度DPOF 設定を行なってください。

再生メニュー

1

再生メニューを選択します。

設定を選択します。

2

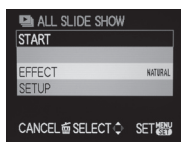
通常再生

通常再生モードで画像や動画を見ます。

1. ◀▶を押して画像を選択します。
   - 動画または音声(ある場合) を再生するには▲を押します。
   - 画像または動画のお気に入りにをマークするには▼を押します。
     [再生] メニューの[お気に入り] は[ON]にセットしてください。
2. 通常再生を終了するには、モードスイッチを記録 に設定してください。

スライドショー　　[全画像] - [カテゴリー選択] - [お気に入り]

音楽とともにスライドショーで画像を見ることができます。異なる再生方法から選択できます。このモードは、カメラをテレビに接続して使用することをおすすめします。動画には適用できません。

1. [MENU/SET] ボタンを押して [スライドショー] に移動します。
2. ▲▼を押して再生方法を選択します。
   - [全画像] = 記録された画像を全て再生します。
   - [カテゴリー選択] = 特別なカテゴリーに記録された画像を再生します。画像が見つからないカテゴリーは暗く表示されます。その後選択したカテゴリーの画像枚数はプリント枚数の側に表示されます。
   - [お気に入り] = お気に入りとして記録された画像を全て再生します。
3. 選択した再生方法を適用するには [MENU/SET] ボタン を押します。
4. スライドショー設定を▲▼を押して設定するか、ステップ5に従ってください。
   - [効果] = 画面効果または音楽を選択します。
   - [セットアップ] = 再生間隔、リピート、音声を設定します。
5. [MENU/SET] ボタンを押して スライドショーを開始します。
6. スライドショーを終了するには▼を押します。

- 動画はスライドショーとして再生できません。
- 新しい音楽効果を加えることはできません。

スライドショー [設定]

[効果]　[ナチュラル]、[スロー]、[スイング]、[アーバン]、[オフ]、[オート]

- 各効果はそれぞれ異なる音声と画面効果を使用します。
- [アーバン]では、画像は白黒で表示されることがあります。
- [オート] は [カテゴリー選択] が選択されている場合にのみ使用できます。画像は各カテゴリーの初期設定された効果で再生されます。

[設定]　[再生間隔]　= 1、2、3、または5秒の中からで設定できます。
　　[リピート]　= [ON] または [OFF]に設定できます。
　　[音楽]/[音声]　= 音楽/音声を[ON] または [OFF]に設定できます。

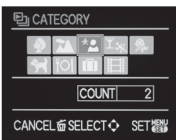
- [再生間隔] は[効果] が [OFF]に設定されている場合のみ設定できます。
- [音声] は [効果] が [OFF]に設定されている場合のみ表示されます。

カテゴリー再生

シーンモードまたはその他のカテゴリーごとに画像を見ることができます。

1. カテゴリー再生に移動するには
   [MENU/SET] ボタンを押してください。
2. カテゴリーを選択します。
   画像が見つからないカテゴリーは暗く表示されます。選択したカテゴリーの画像枚数がプリント枚数の側に表示されます。
3. [MENU/SET] ボタンを押して スライドショーを開始します。
4. ◀▶を押して画像を閲覧します。
   - 動画または音声(ある場合) を再生するには▲を押します。
   - 画像または動画のお気に入りにをマークするには ▼を押します。
   [再生] メニューの[お気に入り] は[ON]にセットしてください。
5. 通常再生を終了するには、モードスイッチを記録 に設定してください。

- カードまたは内蔵メモリーに多くのデータが記録されていると、画像ファイルを検索するのに時間がかかることがあります。
- 検索中に を押すと、検索は途中で停止します。
- 画像は以下のカテゴリーに分類されます。

[人物]、[美肌]、[変身]、[自分撮り]、[夜景&人物]、[赤ちゃん1/2]
[風景]、[夕焼け]、[空撮]
[夜景&人物]　[夜景]、[星空]
[スポーツ]、[パーティ]、[キャンドル]、[花火]、[ビーチ]、[雪]、[空撮]
[赤ちゃん1/2]　[ペット]　[料理]
[トラベル日付]
[動画] - 静止画像は表示されません。

お気に入り再生

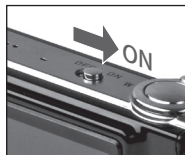
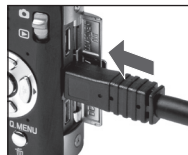
お気に入りの画像と動画を再生します。[再生] メニューの[お気に入り]を[ON]にセットし、お気に入り画像があることを確認してください。

1. ◀▶を押して画像を選択します。
   - 動画または音声(ある場合) を再生するには▲を押します。
2. 通常再生を終了するには、モードスイッチを記録 に設定してください。

パソコンと接続する

- 記録した画像をWindows/Macへ転送します。
- “Windows 98/98SE” をお使いの場合は、直接カメラを接続せずに別売のSDカード用カードリーダーを使用することをおすすめします。
- カメラを直接パソコンに接続するための “Windows 98/98SE” 用のUSBドライバーはLeica Camera ホームページ から入手できます。
- 別売のACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーを使用してください。
- ACアダプターのケーブルを差し込む前に電源をOFFにしてください。
- USB接続には付属のUSBケーブルのみを使用してください。
- カードを挿入したり取り出す前に電源をOFFにし、USB接続ケーブルを取り外してください。そうでない場合、ファイルが壊れるおそれがあります。

1 カメラをパソコンに接続する

端子を変形させないようにUSB ケーブルは真っ直ぐに抜き差ししてください。
内蔵メモリーからコピーしたい場合はカードを取り出してください。

スイッチをONにします。

USB ケーブルをカメラに差し込みます。

2 パソコンでデータを使用する

パソコンでの動画再生について
無料でダウンロードできるApple ‘QuickTime’ を使用できます。

http://www.apple.com/quicktime/download

Macintoshには標準で搭載されています。

取り込みたい画像や画像が入ったフォルダーはドラッグ&ドロップでパソコン上の他のフォルダへ移動できます。

3 接続したカメラをはずす

Macintoshの場合

カメラを取り外す前に、各アイコンをゴミ箱にドラッグしてください。

Windowsの場合

カメラまたはカードを取り外す前にパソコンのタスクバー（パソコン画面右下）の「ハードウェアの安全な取り外し」を使用します。

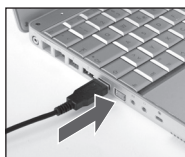
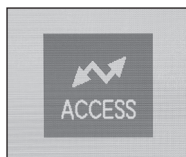
[Windows]

[マイコンピュータ] フォルダーにドライブ(例:E) が表示されます。
カメラを初めて接続すると必要なドライバーが自動的にインストールされます。

[Macintosh]

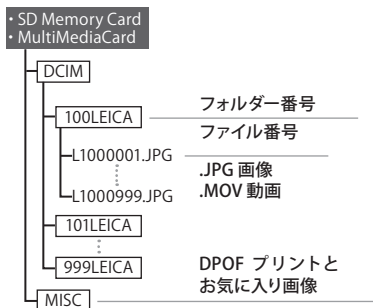
ドライブは画面にアイコンとして次のように表示されます。
- カードが挿入されていない場合　[CLUX3]
- カードが挿入されている場合　[NO_NAME] または [名称未設定]

[セットアップ] - [USBモード] メニューの初期設定で[PC]接続を設定していない場合は、▲▼を押してPCを選択し、[MENU/SET]ボタンを押します。

[セットアップ] - [USBモード] で [PictBridge] を選択した場合はメッセージが表示されます。キャンセルを選択し、[セットアップ] - [USBモード] を [PC] に設定します。

USB ケーブルをパソコンに差し込みます。

[通信中]が表示されている間は切断しないでください。

フォルダー構造

フォルダーは下図のように表示されます。

・SD Memory Card
・MultiMediaCard
- DCIM
  - 100LEICA — **フォルダー番号**
    - L1000001.JPG — **ファイル番号**
    - ⋮ — **.JPG 画像 / .MOV 動画**
    - L1000999.JPG
  - 101LEICA
  - ⋮
  - 999LEICA
- MISC — **DPOF プリントとお気に入り画像**

- 1つのフォルダーにつき最大999枚の画像データが入ります。
- ファイル / フォルダー番号をリセット するには [セットアップ] メニューの [番号リセット] を選択します。
- 番号は他のカメラのカードと交換した後に変更できます。

PTP 接続 (PictBridge)について

OSが 'Windows XP'、'Windows Vista' または 'Mac OS X' の場合、[USB モード] が[PICT BRIDGE]に設定されているときカメラを接続できます。接続されるとカメラは画像処理装置として表示されます。

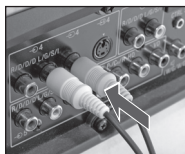
- カメラの画像は読み込みのみできます。
- 1000枚以上の画像が カードに保存されているとインポートできないことがあります。
- カメラが接続されている最中は内蔵メモリーとカードを切り替えることができません。
- カメラが接続されているときはモードダイヤルを回転させないでください。
- パソコンで編集したり回転した画像は特定の再生モード中では黒く表示されることがあります。
- お使いのパソコンの取り扱い説明書をお読みください。
- カメラとパソコンの通信中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴りますので、すぐにパソコン側で接続を中止してください。そうでない場合、ファイルが壊れるおそれがあります。

テレビと接続する

- 付属のAV接続ケーブルを使ってカメラをテレビに接続すると、画像や動画をテレビで見ることができます。
- [セットアップ] メニューで［ビデオ出力] を設定すると、NTSCまたはPALシステムを使用する他の国（地方）のテレビで画像を見ることができます。
- テレビの取扱説明書をよくお読みください。
- 音声はモノラルで出力されます。
- 別売のケーブルを接続すると、いくつかの再生メニューが使用できないことがあります。

1 付属のAV ケーブルを使って接続する。

端子を変形させないようAVケーブルは真っ直ぐに抜き差ししてください。

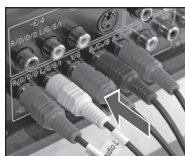
内蔵メモリーから再生したい場合はカードを取り出してください。

AVケーブルをテレビに接続します。

黄色 = ビデオ
白 = 音声

モード▶を選択します。

2 別売のコンポネントケーブルで接続する。

端子を変形させないよう、コンポネントケーブルは真っ直ぐに抜き差ししてください。

内蔵メモリーから再生したい場合はカードを取り出してください。

コンポネントケーブルをテレビに接続します。

赤 = ビデオ　赤
青 = ビデオ　青
緑 = ビデオ　緑
白 = 出力　左
赤 = 出力　右

モード▶を選択します。

3 カメラとテレビの接続を切断する。

カメラの電源をOFFにしテレビの電源を切り、ケーブルを取り外します。

- ［横縦比設定]によって画像の上下または左右に黒い帯が付いて表示されることがあります。
- 付属のAVケーブル以外は使わないでください。
- テレビの取扱説明書をよくお読みください。
- 画像を縦にして再生すると、多少ぼやけることがあります。
- ［ビデオ出力] を [PAL]に設定しても出力シグナルは撮影モードでNTSC になります。

[セットアップ] メニューでビデオの出力設定をします。

ビデオ出力	[NTSC] - [PAL]

各国のカラーテレビ方式に合わせて設定します。

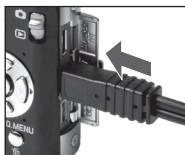
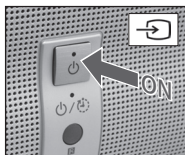
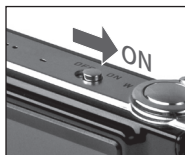
[NTSC]　＝ビデオ出力がNTSC方式に設定されます。

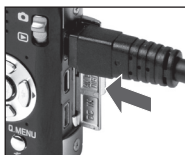
[PAL]　＝ビデオ出力がPAL方式に設定されます。

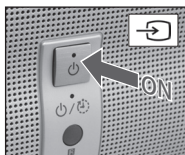
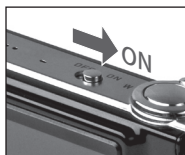
TV 画面タイプ	16:9 - 4:3

TVの種類に合わせて設定します。

16:9 [16:9]　＝画面が16:9 のテレビと接続時

4:3 [4:3]　＝画面が4:3 のテレビと接続時

AVケーブルをAV出力/デジタルソケットに接続します。

スイッチをONにして外部入力を選択します。

スイッチをONにします。

再生方法を選択します。 52ページを参照してください。

画面の情報に従ってください。

コンポネントケーブルをカメラのコンポネント出力ソケットに接続します。

スイッチをONにして外部入力を選択します。

スイッチをONにします。

再生方法を選択します。 52ページを参照してください。

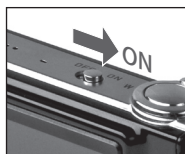
画面の情報に従ってください。

プリンターと接続する

- カメラをUSB接続ケーブルでPictBridgeに対応したプリンターに直接接続すると、カメラのモニター上でプリントする画像を選択し、プリントを開始できます。
- あらかじめプリンター側で印字品質などのプリントの設定をしてください。
- 別売のACアダプターまたは十分に充電されたバッテリーを使用してください。カメラとプリンターの通信中にバッテリー残量が少なくなると、動作表示ランプが点滅し警告音が鳴ります。その場合はプリントを一旦停止してください。プリントしない場合は USB接続ケーブルを抜いてください。
- ACアダプターのケーブルを差し込む前に本機の電源をOFFにしてください。
- USB接続には付属のUSB接続ケーブルのみを使用してください。
- カードを挿入したり取り出す前には必ず電源をOFFにし、USB接続ケーブルを取り外してください。そうでない場合、ファイルが壊れるおそれがあります。

1 プリンターと接続する

端子を変形させないよう、USBプラグは真っ直ぐに抜き差ししてください。

内蔵メモリーからプリントしたい場合はカードを取り出してください。

スイッチをONにします。

モード を選択します 。

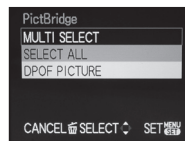
2 プリントする画像を選択する

画面の指示に 従います。

プリント中にオレンジ色の[●] のアイコンが表示されているときは、カメラはプリンターからエラーメッセージを受け取っています。

ひとつの画像

または

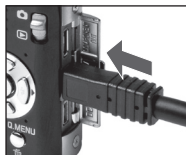
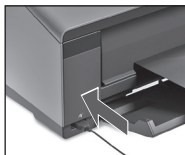
複数の画像

3 カメラとプリンターの接続を切断する

このアイコンが表示されている間は切断しないでください。

- カメラがプリンターと接続されている最中は内蔵メモリーとカードを切り替えることができません。USB接続ケーブルを抜き、カードを挿入または取り出し、USB接続ケーブルをプリンターに再度接続します。
- カメラが接続されているときはモードダイヤルを回転させないでください。
- お使いのプリンターの取り扱い説明書をお読みください。

用紙サイズ

(プリンターアイコン)	プリンター設定が優先されます	10 x 15 cm	100 x 150 mm
L/3.5″ x 5″	89 x 127 mm	4″ x 6″	101.6 x 152.4 mm
2L/5″ x 7″	127 x 178 mm	8″ x 10″	203.2 x 254 mm
はがき	100 x 148 mm	レター	216 x 279.4 mm
A4	210 x 297 mm	カード	54 x 85.6 mm
A3	297 x 420 mm	16:9	101.6 x 85.6 mm

- プリンターが対応していない用紙サイズは表示されません。

USB接続ケーブルをカメラに差し込みます。

スイッチをONにしてUSB接続ケーブルをプリンターに接続します。

[セットアップ] - [USBモード] メニューの初期設定で [PictBridge] 接続を設定していない場合は、▲▼ を押して PictBridge を選択し、[MENU/SET] ボタンを押します。

画面の情報に従ってください。

プリントスタイルを選択します

決定します。

[プリント開始] を選び [MENU/SET] ボタンを押す。

プリント開始の前に、次の設定を決定します。

[複数選択]

▲▼◀▶を押して画像を選択し [DISPLAY] を押してマークします。選択された画像は (プリンターアイコン)でマークされます。
[MENU/SET] ボタンを押して選択を終了します。

[全画像]

保存されているすべての画像をプリントします。

[DPOF]

[DPOF] 設定された画像のみをプリントします。

[お気に入り]

[お気に入り] 設定された画像のみをプリントします。

[日付プリント]

日付をプリントする場合は[ON]、しない場合は[OFF]を選択します。

[プリント枚数]

999枚まで設定できます。[DPOF] が設定されていると表示されません。

[用紙サイズ]

用紙サイズを設定します。プリンターが対応しているサイズのみ。

[レイアウト]

プリンターの対応レイアウト

- (プリンターアイコン) プリンターの設定が優先されます。
- 1面ふちなし印刷
- 1面ふちあり印刷
- 2面印刷
- 4面印刷

メッセージ表示

確認 / エラー内容を液晶モニターに文章で表示します。ここではその主なメッセージを例として説明しています。

[このメモリーカードはロックされています]

SDメモリーカードまたはSDHCメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」に設定されています。解除して撮影してください。

[表示できる画像がありません]

画像を記録する、または画像が記録されたカードを入れてから再生してください。

[この画像はプロテクトされています]

画像のプロテクトを解除してから削除してください。

[削除できない画像があります/この画像は削除できません]

DCF 規格に準拠していない画像は削除できません。削除したい場合は、パソコンなどを使って必要なデータを保存してからカードをフォーマットしてください。

[設定枚数をこえました]

[複数設定] [複数削除]、[お気に入り]、[タイトル編集]、[文字焼き込み]、[リサイズ] で選択可能な限度数を超えました。

お気に入り設定が 999 枚を超えています。

[この画像には設定できません]

[タイトル編集]、[文字焼き込み] または [DPOF プリント] は DCF 規格に準拠していない画像に設定できません。

[内蔵メモリー残量が不足しています/メモリーカード残量が不足しています]

内蔵メモリーまたはカードの空き容量がありません。カードの空き容量がなくなるまで内蔵メモリーからカードへ画像をコピーできます。

[コピーできない画像がありました / 画像をコピーすることができませんでした]

カードからコピーする画像と同じ名前の画像が内蔵メモリーにあります。ファイルが DCF 規格に準拠していません。

また、本機以外で撮影した画像や編集された画像はコピーされない場合があります。

[内蔵メモリーエラー・フォーマットしますか？]

パソコンでフォーマットした場合など、このメッセージが表示されます。本機でフォーマットし直してください。実行する前にデータを保存してください。

[メモリーカードエラー　カードをフォーマットしますか ?]

本機では認識できないファイル形式です。必要なデータを保存してから本機でフォーマットし直してください。

[電源を入れ直してください / システムエラー]

正常に動作しなかった場合に表示されます。再度、電源を入れ直してください。それでも表示される場合は、お買い上げの販売店またはサービスセンターへお問い合わせください。

[メモリーカードエラー　カードのパラメータが異常です]

本機に対応したカードをお使いください。4GB 以上のメモリーカードは SDHC メモリーカードのみ使用できます。

[メモリーカードエラー　カードを確認してください]

カードへのアクセスに失敗しました。電源を[OFF] にしてからもう一度カードを入れ直してください。

[リードエラー　カードを確認してください]

データの読み込みに失敗しました。電源を[OFF] にしてからもう一度カードを入れ直してください。

[ライトエラー　カードを確認してください]

データの書き込みに失敗しました。電源を[OFF] にしてからもう一度カードを入れ直してください。

[…の制限によって動画撮影がキャンセルされました]

画質設定を [30fpsVGA]、[30fps HD]または[30fps WVGA]に設定している場合は、10MB/s以上のSDメモリーカードを使用することをおすすめします。SDメモリーカードの種類によっては、動画撮影が中断されることがあります。

[フォルダーを作成できません]

使用できるフォルダー番号がなくなったためフォルダーを作成できません。必要なデータを保存してから本機でフォーマットしてください。フォーマットを行ったあとにセットアップメニューの［番号リセット］を実行すると、フォルダー番号が100にリセットされます。

[4:3TV用で出力します/16:9TV用で出力します]

本機にAVケーブルが接続されました。メッセージを消したい場合は、［MENU/SET］ボタンを押してください。

TV画面タイプを変更したい場合は、セットアップメニューの[TV画面タイプ] で変更してください。

USB ケーブルが本機のみに接続されています。USB接続ケーブルのもう一方をパソコンまたはプリンターに接続してください。

[プリンター　ビジー]/[プリンターを確認してください]

カメラがプリントできない場合はプリンターを確認してください。

エラーの訂正 / トラブルシューティング

エラーが改善されない場合は、セットアップメニューの[設定リセット] を実行してください。

バッテリー、電源について

電源を[ON] にしても動作しない。	・バッテリーは正しい向きに入っていますか？ ・バッテリーは十分に充電されていますか？
電源を［ON］にしているのに、液晶モニターが消灯している。	・[オート液晶OFF] モードが働いていませんか？ ・バッテリーは十分に充電されていますか？
電源を[ON] にしてもすぐ切れる。	・バッテリーが消耗していませんか？ ・電源を入れたまま放置しないでください。
[チャージ] ランプが点滅する。	・バッテリーの温度が高すぎたり低すぎたりすると充電に時間がかかったり、充電が完了しないことがあります。 ・チャージャーまたはバッテリー端子に汚れなどがついていませんか？

撮影について

画像が撮れない。	・撮影モードはが選択されていますか？ ・モードダイヤルは正しいモードに設定されていますか？ ・内蔵メモリーまたはカードのメモリー残量はありますか？
記録された画像が白っぽい。	・汚れや指紋がレンズについていませんか？汚れたときは、レンズの表面を柔らかい乾いた布で軽く拭き取ってください。
撮影した場所の周辺が暗くなる。	・レンズを広角に設定し、近距離からフラッシュを使って撮影しましたか？
撮影した画像が明るすぎたり、暗すぎる。	・露出が正しく補正されていますか？ ・[下限シャッタースピード] が遅く設定されていませんか？ ・[ピンホール] シーンモードが設定されていませんか？
1回の撮影で2〜3枚の画像が撮れるときがある。	・オートブラケット、SCNモードの[高速連写]、[フラッシュ連写] または[撮影]の[連写]の設定をOFFにします。

ピントが合わない。	・撮影モードによってピントが合う範囲が異なります。別の撮影モードに設定してみてください。 ・被写体がピントが合う範囲から外れています。 ・カメラまたは被写体がブレていませんか？
撮影した画像がブレている。 手ブレ補正が効かない。	・撮影場所が暗すぎませんか？ ・両手でしっかりとカメラを持っていますか？ ・必要であれば三脚とセルフタイマーを使用してください。
オートブラケットで撮影ができない。	・記録可能画像枚数が2枚以下ではありませんか？
撮影した画像が粗い。 ノイズが出る。	・ISO感度が高い、またはシャッタースピードが遅くないですか？ ・周辺に十分光がありますか？ ・SCNモードで[高感度]または[高速連写]が設定されていませんか？撮影した画像が少し粗くなりますが、高感度処理のためで異常ではありません。
撮影された画像の明るさや色合いが実際とは異なる。	・蛍光灯下で撮影時、明るさや色合いが多少変化する場合があります。これは蛍光灯の特性により発生するものであり、異常ではありません。
撮影中に、液晶モニターに赤っぽい縦スジ（スミア）が出る。	・これはCCDの特徴であり、被写体に明るい部分があると出ます。むらが発生する場合がありますが、異常ではありません。 ・動画撮影では記録されますが、静止画像には記録されません。 ・日光やその他の強力な光源に画面をさらさないように注意してください。
動画撮影が途中で止まる。	・撮影にマルチメディアカードを使用しないでください。 ・SDメモリーカードによっては途中で撮影が終了する場合があります。
被写体をロックできない。 （追尾AFが失敗する。）	・被写体が周辺と異なる色であれば、被写体の特有の色に触れます。

レンズについて

撮影された画像がゆがんだり、被写体のまわりに色ぶちが発生する。	・ズームの倍率によって被写体がわずかにゆがんだり、境界に色がつくことがあります。広角を使用すると遠近が増強されるため、イメージがゆがんで見えることもあります。これは異常ではありません。

液晶モニターについて

電源［ON］中に、液晶モニターが消える。	・パワーセーブ機能が働いていませんか？ ・バッテリーは十分に充電されていますか？
液晶モニターの明るさが、暗くなったり一瞬明るくなったりする。	・この現象は、シャッターボタンを押したときに発生するもので、撮影画像に影響はありません。
室内で液晶モニターがちらつく。	・これは蛍光灯によるもので、異常ではありません。

液晶モニターが明るすぎたり、暗すぎる。	・液晶モニターの明るさは正しく設定されていますか？ ・[パワー LCD] が設定されていませんか？
液晶モニターの画面上に黒、赤、青、緑の点が現れる。	・これは故障ではなく、画質には影響ありません。
液晶モニターにノイズが出る。	・暗い場所ではノイズが出ることがあります。撮影する画像に影響はありません。

フラッシュについて

フラッシュが発光しない。	・フラッシュがOFFに設定されていませんか？ ・オートブラケットまたは[撮影] メニューで[連写] が設定されているときは発光しません。
フラッシュが数回発光する。	・赤目軽減モードが有効になっています。 ・SCNモードで[フラッシュ連写]が設定されていませんか？

再生について

再生した画像が意図しない方向に回転して表示される。	・[回転表示] が [ON]に設定されていませんか？ ・[回転画像] で画像を回転することができます。
再生できない。	・[カテゴリー再生] または[お気に入り再生] が再生方法で設定されていませんか？ [通常再生]に変更してください。
フォルダー・ファイル番号 が [–] で表示され、画像が黒くなる。	・画像をパソコンで編集しませんでしたか？ ・他のカメラで撮影した画像がありませんか？ ・撮影直後にバッテリーを取り出したり、残量が少なくなったバッテリーで撮影しませんでしたか？
カレンダーを再生すると、撮影した日付と異なる日付に画像が表示される。	・カメラの時計は正しく設定されていますか？ ・画像をパソコンで編集しませんでしたか？ ・他のカメラで撮影した画像がありませんか？
撮影した画像の上に石鹸の泡のような白い丸い点が現れる。	・暗い場所でフラッシュを使うと、空気中の粒子が反射して生じます。これは故障ではありません。点の数とその位置は写真ごとに異なります。
[サムネールが表示されます] が画面に表示される。	・他のカメラで撮影した画像がありませんか？画質が悪いと表示されることがあります。
クリック音が動画に録音される。	・自動絞り値補正によってクリック音が生じ、これが動画の撮影中に録音されることがあります。これは故障ではありません。

テレビ、パソコン、プリンターについて

テレビに画像が出ない。	・カメラはテレビに正しく接続されていますか？ ・テレビの入力は正しく設定されていますか？ ・カメラのメニューは正しく設定されていますか？ ・カメラはパソコンまたはプリンターに接続されていませんか？テレビにのみ接続してください。
テレビ画面と本機の液晶モニターの表示される領域が違う。	・[TV画面タイプ] 設定を確認してください。 ・テレビの機種によっては、画像が縦や横に伸びたり、画像の上下や左右が切れて表示されることがあります。

テレビで動画の再生ができない。	・カメラはテレビに正しく接続されていますか？ ・付属のAVケーブルを使用していますか？ ・別売のコンポネントケーブルを使用していますか？
テレビ画面いっぱいに画像が表示されない。	TV画面タイプを確認してください。
パソコンに接続して画像を転送できない。	・カメラはテレビに正しく接続されていますか? ・カードはパソコンに正しく認識されていますか? [USB モード]で[PC] に設定してください。
カードまたは内蔵メモリーがパソコンに認識されない。	・USB接続ケーブルを抜き、カードを入れた状態でUSB接続ケーブルを接続し直してください。
プリンターに接続して、プリントができない。	・プリンターはPictBridgeに対応していますか? [USB モード]で[PictBridgte(PTP)]に設定してください。
プリントすると、画像の端が切れる。	・プリンターは正しく設定されていますか? ・トリミングまたは「ふちなし」の設定を解除してください。

その他

間違った言語を設定してしまった。	・[MENU/SET]ボタンを押してセットアップメニュー を表示し、 アイコンを選んで、言語設定をしてください。
シャッターボタンを半押しすると、赤いランプが点灯することがある。	・暗い場所ではピントを合わせやすくするために、AF補助光ランプが赤く点灯します。
AF補助光が点灯しない。	・撮影メニューの[AF補助光]を[ON]に設定していますか? ・AF補助光ランプは明るいところでは電源が入りません。
本機が熱くなる。	・これは故障ではなく、画質には影響ありません。
レンズ部から「カチッ」と音がする。	・これは故障ではなく、画質には影響ありません。
時計がリセットされる。	・カメラを長期間使用しなかった場合に起こる通常の現象です。
画像をズームするとわずかにゆがんで表示され、画像の周囲に実際にはない色が付いている。	・画像はズーム倍率によってわずかにゆがんで撮影されたり、被写体の輪郭などにわずかに着色して撮影されることがあります。これは異常ではありません。
ズームが瞬間的にとまる。	・EX光学ズームではズームがほとんどの場合一時的に止まります。これは故障ではありません。
ファイル番号が連続して記録されない。	・特定の操作を行ったあとに操作を行うと、ファイル番号が変わることがあります。
ファイル番号がさかのぼって記録される。	・電源を[OFF]にせずバッテリーを出し入れした場合、撮影していたフォルダー番号を記憶することができません。
[年齢]が正しく表示されない。	・時計と誕生日の設定を確認してください。
レンズ鏡筒が引っ込む。	・レンズ鏡筒は、[撮影] モードから[再生] モードへ切り替えた後に、およそ15秒間引っ込みます。

索引

あ

赤目軽減補正 32
アフレコ 51
暗部補正 41
インテリジェント ISO 38
液晶モード 35
液晶モニター 6, 8, 11, 12
エコノミー 35
横縦比設定 38
横縦比変換 48
オートフォーカスモード 39
オートブラケット 31
オートレビュー 35
お気に入り 49
お気に入り再生 53
音声記録 42
音量 34

か

カード 7, 8, 16
回転表示 49
ガイドライン 35
下限シャッタースピード 42
画質設定 37
画像回転 49
画像記録可能枚数 68
画像再生 44
傾き補正 48
カテゴリー再生 53
カメラのお手入れ 8
カラーモード 41
カレンダー 44, 46
逆光補正 18
記録画素数 37
クイック AF 40
クイックメニュー 43
クオリティ 38
言語設定 36, 64
光学ズーム 41
コピー 51
コンポネントケーブル 14, 56

さ

削除 45
シーンメニュー 36
シーンモード 22
シーン認識 19
充電 7, 9, 15
ズーム 41
スナップショットモード 18
スライドショー 52
セルフタイマー 30
操作音 34

た

タイトル編集 46
通常再生 44, 52
デジタルズーム 41
デモモード 36
手ブレ 42
手ブレ補正 42
テレビ 56
動画再生 29, 44
動画撮影モード 28
時計設定 17, 34, 42
トラベル日付 17, 34
トリミング 48

な

内蔵メモリー 17

は

パソコン 54
バッテリー 7, 9, 15
番号リセット 35
ヒストグラム 13, 35
表示モード 12
ビデオ出力 36, 57
ピント 30, 39
フォーマット 36
フラッシュ 32
プリント 58
プログラムモード 20
プロテクト 50
ホワイトバランス 31, 38

ま

マクロモード 30
文字焼き込み 47

ら

リサイズ 47
リセット 35
連写 40
露出 13, 41
露出補正 31

わ

ワールドタイム 17, 34

英字

AF 補助光 42
AF/AE ロック 30
DPOF プリント 50
ISO 感度 38
PC 54
Pict Bridge 36, 58
TV 画面タイプ 36
USB モード 36
USB 接続ケーブル 54, 58

組み合わせが不可能な機能

機能	機能が設定できない条件
[オートパワー　LCD]	・▶モード
[パワーセーブ]	・ACアダプターを使用しているとき ・パソコンまたはプリンターに接続しているとき ・動画の撮影時または再生時 ・スライドショーの間 ・[オートデモ]
[自動液晶 OFF]	・ACアダプターを使用しているとき ・メニュー画面が表示されている間 ・セルフタイマーが設定されているとき ・動画の撮影中 ・パソコンまたはプリンターに接続しているとき
[オートレビュー]	・モード
EX 光学ズーム	・SCNモードの ・モード
[デジタルズーム]	・SCN モードの ・インテリジェント ISO が設定されているとき
[ヒストグラム]	・モード ・マルチ再生の間 ・再生ズームの間 ・[カレンダー]
[フラッシュ]	・オートブラケットが設定されているとき ・連写モードが設定されているとき ・SCNモードの ・モード
[セルフタイマー]	・SCN モードの ・モード
[露出補正]	・SCNモードの
[オートブラケット]	・SCNモードの ・モード
[記録画素数]	・SCN モードの　・モード
[クオリティ]	・SCN モードの ・モード
[横縦比設定]	・SCN モードの
[インテリジェント ISO]	・SCNモード ・モード
[ISO 感度]	・SCNモード ・モード ・インテリジェント ISO が設定されているとき
[ホワイトバランス]	・SCN モードの

[ホワイトバランス補正]	・[カラーモード]で[白黒]、[セピア]、[クール]または[ウォーム]が設定されているとき
[クイックAF]	・SCNモードの ・モード
[連写]	・SCNモードの ・モード ・[音声記録]
[暗部補正]	・SCNモード　・モード
[カラーモード]	・SCNモード
[下限シャッタースピード]	・SCNモード ・モード ・インテリジェントISOが設定されているとき
[音声記録]	・[オートブラケット] ・[連写] ・SCNモードの ・モード
[AF補助光ランプ]	・SCNモードの
[再生ズーム]	・動画再生をしているとき ・音声付き静止画像（音声を再生しているとき）
[タイトルの編集]	・動画 ・プロテクトされた画像
[文字焼き込み]	・時計設定を行わずに撮影された画像 ・動画 ・音声付静止画像 ・[文字焼き込み]済の画像
[リサイズ] [トリミング] [傾き補正]	・動画 ・音声付静止画像 ・[文字焼き込み]済の画像
[横縦比変換]	・3:2または4:3で記録した画像 ・動画 ・音声付静止画像 ・[文字焼き込み]済の画像
[画像回転]	・動画 ・プロテクトされた画像
[回転表示]	・マルチ再生・[カレンダー]
[日付プリント]	・[文字焼き込み]済の画像
[アフレコ]	・動画 ・プロテクトされた画像

コンポネントケーブルが接続されているときに組み合わせられない機能

- [液晶モード]、[ヒストグラム]、[タイトル編集]、[文字焼き込み]、[リサイズ]、[トリミング]、[傾き補正]、[横縦比変換]、[アフレコ]、[コピー]。
- [DPOFプリント]の[複数]設定、[プロテクト]と[複数削除]。
- 動画から静止画像を作成すること。

記録可能枚数

• 記録可能枚数・時間は目安です。（撮影条件、カードの種類によって変化します）
• 被写体により記録可能枚数・時間は変動します。

横縦比設定		4:3							
記録画素数		10M 3648x2736		7M 3072x2304		5M 2560x1920		3M 2048x1536	
クオリティ									
内蔵メモリー		9	20	14	28	20	40	32	62
カード	32 MB	5	11	7	16	11	23	18	36
	64 MB	11	24	16	34	24	48	38	75
	128 MB	24	49	35	69	50	99	78	150
	256 MB	48	97	68	135	98	190	150	290
	512 MB	97	190	135	270	195	380	300	590
	1 GB	195	380	270	540	390	770	600	1180
	2 GB	390	770	550	1090	790	1530	1220	2360
	4 GB	770	1520	1090	2150	1560	3010	2410	4640
	8 GB	1580	3100	2230	4380	3180	6130	4910	9440
	16 GB	3180	6250	4490	8820	6410	12350	9880	19000
	32 GB	6390	12500	9010	17700	12870	24780	19820	38120

横縦比設定		4:3			
記録画素数		2M 1600x1200		0.3M 640x480	
クオリティ					
内蔵メモリー		51	97	240	400
カード	32 MB	29	56	145	230
	64 MB	61	115	290	480
	128 MB	125	230	600	970
	256 MB	240	460	1170	1900
	512 MB	480	910	2320	3770
	1 GB	970	1830	4640	7550
	2 GB	1920	3610	8780	12290
	4 GB	3770	7090	17240	24130
	8 GB	7670	14440	35080	49120
	16 GB	15440	29070	70590	98840
	32 GB	30970	58310	141620	198270

横縦比設定		3:2							
記録画素数		9M 3648x2432		6M 3072x2048		4.5M 2560x1712		2.5M 2048x1360	
クオリティ									
内蔵メモリー		11	22	15	32	22	45	36	69
カード	32 MB	6	12	8	18	13	26	20	40
	64 MB	13	27	19	38	27	54	43	83
	128 MB	27	55	39	78	56	110	88	165
	256 MB	54	105	77	150	110	210	170	330
	512 MB	105	210	150	300	210	430	340	650
	1 GB	210	430	300	600	440	860	680	1310
	2 GB	440	870	620	1220	890	1700	1360	2560
	4 GB	870	1720	1230	2410	1740	3350	2680	5020
	8 GB	1770	3500	2500	4910	3550	6820	5450	10230
	16 GB	3580	7050	5040	9880	7160	13720	10980	20590
	32 GB	7180	14160	10110	19820	14360	27530	22020	41300

横縦比設定		16:9							
記録画素数		7.5M 3648x2056		5.5M 3072x1728		3.5M 2560x1440		2M 1920x1080	
クオリティ									
内蔵メモリー		13	26	18	37	27	53	47	92
カード	32 MB	7	15	10	21	15	30	27	53
	64 MB	15	32	22	45	32	63	57	105
	128 MB	33	65	46	92	66	125	115	220
	256 MB	65	125	91	180	130	250	220	430
	512 MB	125	250	180	350	250	500	450	860
	1 GB	250	510	360	710	520	1000	900	1720
	2 GB	520	1020	730	1420	1040	1980	1800	3410
	4 GB	1030	2010	1450	2800	2040	3890	3540	6700
	8 GB	2090	4090	2950	5710	4160	7920	7220	13640
	16 GB	4220	8230	5950	11490	8370	15940	14530	27450
	32 GB	8470	16520	11940	23050	16800	31970	29150	55070

記録可能時間

・動画は連続して2GBまで撮影できます。 画面には2GBまでしか表示されません。
・液晶モニターに表示される記録可能枚数・時間は、規則正しく減少しない場合があります。
・本機はマルチメディアカードでの動画撮影には対応していません。
・シーンモードの[高感度]または[高速連写]では、EX光学ズームが働きませんので、記録画素数のEZは表示されません。

クオリティ		30fps WVGA	30fps HD	30fps VGA	30fps QVGA	10fps QVGA
内蔵メモリー		-	-	-	1 分 38 秒	4 分 20 秒
カード	32 MB	4 秒	14 秒	17 秒	56 秒	2 分 35 秒
	64 MB	12 秒	33 秒	39 秒	1 分 58 秒	5 分 20 秒
	128 MB	29 秒	1 分 10 秒	1 分 22 秒	4 分	10 分 50 秒
	256 MB	59 秒	2 分 15 秒	2 分 40 秒	7 分 50 秒	21 分 10 秒
	512 MB	2 分	4 分 30 秒	5 分 20 秒	15 分 40 秒	42 分
	1 GB	4 分	9 分 20 秒	10 分 50 秒	31 分 20 秒	1 時間 24 分
	2 GB	8 分 20 秒	19 分	22 分 10 秒	1 時間 4 分	2 時間 51 分
	4 GB	16 分 30 秒	37 分 30 秒	43 分 40 秒	2 時間 5 分	5 時間 36 分
	8 GB	33 分 40 秒	1 時間 16 分	1 時間 28 分	4 時間 15 分	11 時間 23 分
	16 GB	1 時間 8 分	2 時間 33 分	2 時間 59 分	8 時間 35 分	22 時間 55 分
	32 GB	2 時間 16 分	5 時間 8 分	5 時間 59 分	17 時間 13 分	46 時間

仕様

技術仕様は予告なく変更されることがあります。安全にお使いいただくための情報です。

カメラ:

電源:	DC 5.1 V
消費電力:	1.4 W (撮影時)、0.6 W (再生時)
カメラ有効画素数:	1010万画素
撮像素子:	1/2.33” CCD、総画素数 1070万画素 原色カラーフィルター
レンズ:	光学5倍ズーム、f=4.4mm ～22mm (35mmフィルムカメラ換算25mm ~ 125mm) F2.8～F5.9
デジタルズーム:	最大4倍
EX光学ズーム:	最大8.9倍
フォーカス:	通常 / マクロ / 顔認識 / 追尾AF / 11点 / 1点(H) / 1点 / スポット
通常撮影範囲:	50cm / 1m ～ ∞
マクロ / 静止画像モードの撮影範囲:	5cm(広角) / 1m(望遠) ～ ∞
シーンモードの撮影範囲:	上記撮影範囲と異なる場合あり
シャッターシステム:	電子シャッター連動メカニカルシャッター
動画撮影:	1280 x 720 画素 (カード使用時は30 fps) 848 x 480 画素 (カード使用時は30 fps) 640 x 480 画素 (カード使用時は30 fps) 320 x 240 画素 (30 fps, 10 fps) 音声付
連写撮影:	2.5コマ/秒 (通常)、約2 コマ/秒(フリー連写)
連写枚数:	最大5コマ(標準)、最大3コマ(ファイン)、 内臓メモリーまたはカードの空き容量に依存(フリー連写) (連写撮影は、SDメモリーカード/SDHCメモリーカードのみ可能です。マルチメディアカードは適していません。)
高速連写フレーム率:	約6コマ/秒 3M(4:3), 2.5M (3.2) または2M(16:9)が画像サイズとして選択されます。
記録可能枚数:	内蔵メモリー使用時: 約15枚 (フォーマット直後) カード使用時:最大100枚 (カードの種類や撮影条件によって異なる)

項目	仕様
ISO 感度:	オート/100/200/400/800/1600 [高感度]モード: 1600 ～ 6400
シャッタースピード:	8 秒 ～ 1/2000 秒 [星空]モード:15 秒、30 秒、60 秒
ホワイトバランス:	オートホワイトバランス/晴天/曇り/日陰/白熱灯/セットモード
露出 (AE):	プログラム AE 露出補正 (1/3 EVステップ、-2 EV ～ +2 EV)
測光方式:	複数
液晶モニター :	2.5型低温ポリシリコンTFT液晶(約23万画素)(視野率約100%)
フラッシュ :	フラッシュ : [ISO オート] 約60 cm ～ 6 m (広角) オート/赤目軽減オート/強制発光(赤面軽減強制発光) 赤目軽減スローシンクロ/発光禁止
マイク/スピーカー :	モノラル
記録メディア:	内蔵メモリー (約 50 MB)/SD メモリーカード/ SDHC メモリーカード/マルチメディアカード (静止画のみ対応)
記録画素数	
静止画:	横縦比 4:3 設定時 3648x2736 画素/3072x2304 画素/2560x1920 画素 2048x1536 画素/1600x1200 画素/640x480 画素 横縦比 3:2 設定時 3648x2432 画素/ 3072x2048 画素/2560x1712 画素 2048x1360 画素 横縦比 16:9 設定時 3648x2056 画素/ 3072x1728 画素/ 2560x1440 画素 1920x1080 画素
動画:	1280x720 画素 (カード使用時) 848x480 画素 (カード使用時) 320x240 画素
クオリティ :	ファイン/標準
記録画像ファイル形式	
静止画:	JPEG (DCF準拠、Exif2.21準拠) / DPOF対応
音声付き静止画:	JPEG (DCF準拠、Exif2.21準拠) ＋QuickTime (音声付き静止画)
動画:	QuickTime Motion JPEG (音声付き動画)
インターフェース	
デジタル:	USB 2.0 (Full Speed)
アナログ ビデオ/オーディオ:	NTSC/PALコンポジット(メニュー切り換え) / オーディオライン出力(モノラル)
端子	
[COMPONENT OUT]:	専用ジャック (10 Pin)
[AV OUT/DIGITAL]:	専用ジャック (8 Pin)
[DC IN]:	専用ジャック (2 Pin)

寸法 (幅 x 高さ x 奥行き):	約 95.8 mm x 51.9 mm x 22 mm [3 3/4" x 2 1/32" x 7/8"] (突起部除く)
重量:	約 126g (本体) 約 147g (バッテリー/カード含む)
推奨使用温度:	0℃ ～ 40 ℃
許容相対湿度:	10 % ～ 80 %

バッテリーチャージャー:

安全にお使いいただくために

定格入力:	110V ~ 240V 50/60Hz, 0.2A
定格出力:	4.2V 0.8A (充電時)
機器の移動性:	移動可能

バッテリーパック:

安全にお使いいただくために

電圧:	3.6V

Leica サービス窓口

ライカ アカデミー

ライカカメラ社では、高性能な写真関連製品の製造に携わるだけでなく、長年にわたるサービスの一環としてライカアカデミーを主催しています。ライカアカデミーでは、実践的なセミナーやトレーニングコースを開催し、写真や映像分野の専門知識を、初心者から上級者までの熱心な写真愛好家の皆様にご提供します。経験豊かなスタッフが、本社工場やグート・アルテンベルクにある最新の研修施設にて実施するコース内容には、一般的な写真撮影から専門の対象分野までが含まれます。こちらでは、数多くのアドバイスや情報に加えて、皆様の作品作りに対するサポートもご提供しています。ライカアカデミーの最新プログラムについては、下記までお問い合わせください。

Leica Camera AG
Leica Academie
Oskar-Barnack Str.11
D-35606 Solms, Germany

Phone: +49 (0) 6442-208-421
Fax: +49 (0) 6442-208-425
ia@leica-camera.com

ライカのホームページ

各種製品、ニュース、イベント、会社情報等に関する最新情報については、ライカカメラ社のホームページをご覧ください。

http://www.leica-camera.com
http://www.leica-camera.co.jp

ライカ インフォメーションサービス

ライカ製品の使い方などの技術的なご質問は、下記までお問い合わせください。

Leica Camera AG
Information Service
Postfach 1180
D-35599 Solms, Germany

Phone: +49 (0) 6442-208-111
Fax: +49 (0) 6442-208-339
info@leica-camera.co.jp

ライカ デジタルカメラサポートセンター

＜技術的なお問い合わせ窓口＞　Tel. 03-5956-6428
受付時間：月曜日～金曜日　10：00～12：00、13：00～16：30
祝祭日は受け付けておりませんのでご了承ください。

ライカ カスタマーサービス

ライカ製品のメンテナンスや修理が必要な場合には、下記のカスタマーサービスセンター、またはお近くのライカ正規特約店までお問い合わせください。

Leica Camera AG,
Customer Service
Solmser Gewerbepark 8
D-35606 Solms, Germany

Phone: +49 (0) 6442-208-189
Fax: +49 (0) 6442-208-339
customer.service@leica-camera.com

ライカカメラジャパン株式会社
カスタマーサービス

東京都中央区銀座6-4-1　ライカ銀座店内
Tel. 03-6215-7072
Fax. 03-6215-7073
Email.info@leica-camera.co.jp